

**TEIKYO UNIV.
RUGBY FOOTBALL CLUB
OFFICIAL YEARBOOK 2020**

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2020 RUGBY





「One for all, All for one」

再びあの景色に出会うために
すべてを抱えて僕たちは駆け出す。
きっとどこまでも行けると信じて。
一人はみんなのために、みんなは勝利のために。

帝京大学ラグビー部 イヤーブック発刊に寄せて

学校法人帝京大学 理事長
帝京大学 学長
冲永 佳史

本学における指定強化部の活躍が近年頼もしくも目立っておりますが、このような流れを形つくるにあたって近道はなく、日々の積み重ねの結果として表立ってくるものであります。強化に向けたあらゆる努力を地道に続けてきたからこそ、めざましい実績につながっているのです。

しかしながら、目立つことが目的になってはいけないと考えております。大学におけるスポーツはプロスポーツと異なり、あくまでも教育機関が行っている活動であり、必要な知識や技術を客観的に見つけ吸収し、現在そして将来において、競技力向上の下地をつくるということもさることながら、人としての構えを身につけ、多様な人とかわりながら仕事を進めていける知恵や社会性を醸成することに重点を置いています。

各練習施設やトレーニング施設の拡充はもちろん、競技力向上のために必要なトレーニング方法や食の管理、けがの際の適切な治療などを施す、大学付設のスポーツ医科学センターや接骨院のバックアップ体制などのほか、普段の授業すべてが学生の育成を目的として存在しています。

よって、指定強化部で活動している学生諸君につきましては、これら本学における支援体制を存分に活用し、教職員をはじめとしたさまざまな人々とかわり、経験を積んで社会の中で活躍できる人材へと成長していただけることを心から期待しております。

帝京大学 八王子キャンパス 学生サポートセンター・グループリーダー
強化クラブ室 室長
宮澤 靖治

近年、本学ラグビー部は岩出雅之監督の指導の下、『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』で9連覇という実績と共に、学生ラグビー界のみならず日本のラグビー界を牽引する選手指導の在り方を提示してまいりました。

昨年、ラグビーワールドカップ日本大会が開催され、本学ラグビー部OBが日本代表チームを牽引し、ベスト8という過去最高の結果を残し、大変な盛り上がりを見せました。

本学ラグビー部につきましては、王者復権を誓いチーム一丸となって邁進しておりましたが、残念ながら上位進出はなりませんでしたが、しかし、その指導法や強化策は、日本代表チームの戦いを見てわかる通り、国内トップチームやその指導者へ影響を広げ、日本ラグビー界を世界レベルへ引き上げた一因となっていることを確信しております。

岩出監督をはじめとして、チームは必ずまた新たな取り組みで活路を見出し、混戦が予想される大学ラグビー界で、再び日本一に返り咲いてくれることを期待しております。本学ラグビー部はどのような新しいストーリーを描いてくれるのか。シーズンが楽しみです。



Interview

帝京大学ラグビー部 部長

浪越 一喜
NAMIKOSHI Itsuki



部員たちの頑張りと成長する姿を見てほしい

昨年度は『ラグビーワールドカップ2019』において日本代表の目覚ましい活躍があり、日本中が大いに盛り上がりとともに、「ノースайд」「ワンチーム」といったラグビーの価値・魅力が多くの方々に伝わりました。その中に帝京大学の卒業生が数多くいたことを大変誇りに思っています。

しかしながら、コロナ禍の今シーズンは何もかもが異例づくめとなりました。現在、チームは新型コロナウイルス感染症予防に最大限の注意を払いながら、日々、練習に励んでおり、今後も感染予防に一層気をつけながら活動してまいります。

社会の変化を受け、ラグビーに限らずスポーツへのかかわり方というものが大きく変わったように思います。これまでスポーツをしていなかった人がリモートワークなどで運動不足を感じ、自身の身体に意識を向けてスポーツを始めるケースも増えているようです。同時

に、スポーツを見ることに関心を寄せる人も増えていると思います。そうした方々にも大学ラグビーの魅力が大いに感じてもらえるように、チーム一丸となって頑張りたいと思います。

また、学生の皆さんや教職員、関係者の方々にラグビー部の試合を見てもらい、自分たちの学校が戦っているのだと感じて応援してもらえるようにすることが私の役割のひとつであると思っています。今はスタジアムの入場制限などもあり難しい状況ではありますが、コロナ禍が収束した後は、ぜひ多くの人たちに観戦に来ていただき、部員たちが頑張っている姿に対して大きな声援を送ってあげてほしいと願っています。今シーズンも部員たちは大学日本一をめざして戦っておりますが、結果だけではなく、彼らの頑張る姿、そしてラグビーを通して人間として成長していく姿を感じていただけたら嬉しく思います。

SCHEDULE 2020 2020年度 主な大会スケジュール

2020年度 関東大学対抗戦Aグループ 対戦表

	帝京大学	明治大学	早稲田大学	筑波大学	日本体育大学	慶應義塾大学	青山学院大学	立教大学
帝京大学	—	11/22 13:00 秩父宮	11/1 11:30 秩父宮	10/11 13:00 帝京大G	10/4 13:00 帝京大G	12/6 14:00 熊谷	10/18 13:00 帝京大G	11/8 14:00 上柚木陸上
明治大学	11/22 13:00 秩父宮	—	12/6 14:00 秩父宮	10/18 14:00 熊谷	11/7 14:00 秩父宮	11/1 14:00 秩父宮	10/11 13:00 明治大G	10/4 13:00 明治大G
早稲田大学	11/1 11:30 秩父宮	12/6 14:00 秩父宮	—	11/7 11:30 秩父宮	10/18 11:30 熊谷	11/23 14:00 秩父宮	10/4 14:00 秩父宮	10/11 13:00 早稲田大G
筑波大学	10/11 13:00 帝京大G	10/18 14:00 熊谷	11/7 11:30 秩父宮	—	12/6 11:30 熊谷	10/4 11:30 秩父宮	11/23 14:00 AGFフィールド	11/1 13:00 熊谷B
日本体育大学	10/4 13:00 帝京大G	11/7 14:00 秩父宮	10/18 11:30 熊谷	12/6 11:30 熊谷	—	10/11 13:00 慶應義塾大G	11/1 13:00 青山学院大G	11/23 11:30 AGFフィールド
慶應義塾大学	12/6 14:00 熊谷	11/1 14:00 秩父宮	11/23 14:00 秩父宮	10/4 11:30 秩父宮	10/11 13:00 慶應義塾大G	—	11/8 11:30 上柚木陸上	10/18 13:00 慶應義塾大G
青山学院大学	10/18 13:00 帝京大G	10/11 13:00 明治大G	10/4 14:00 秩父宮	11/23 14:00 AGFフィールド	11/1 13:00 青山学院大G	11/8 11:30 上柚木陸上	—	12/5 13:00 大和スポーツセンター
立教大学	11/8 14:00 上柚木陸上	10/4 13:00 明治大G	10/11 13:00 早稲田大G	11/1 13:00 熊谷B	11/23 11:30 AGFフィールド	10/18 13:00 慶應義塾大G	12/5 13:00 大和スポーツセンター	—

第57回 全国大学ラグビーフットボール選手権大会 日程

開催日	対戦校	会場
12月13日(日) 3回戦	同志社大学	東大阪市花園ラグビー場
12月19日(土) 準々決勝	東海大学	東大阪市花園ラグビー場
1月2日(土) 準決勝	未定	秩父宮ラグビー場
1月11日(月・祝) 決勝	未定	国立競技場

※日程・会場は予定となっており、変更になる可能性があります。



TEIKYO RUGBY SCHEDULE 2020

仲間を守るための 本気のチームワーク

新型コロナウイルス感染症は、帝京大学ラグビー部にも非常に大きな影響を及ぼすことになった。ラグビーはもちろん、普通の生活にも大きな制限がかかる中、どのような考え方のもと、どのような行動を取ってきたのか。世界を襲った未曾有の災禍の中で、岩出雅之監督が感じた「学生たちの成長」とは？



[帝京大学ラグビー部・監督]
岩出 雅之
IWADE Masayuki
1958年生まれ。和歌山県新宮市出身。日本体育大学在学中に1978年全国大学選手権大会優勝に貢献。四年次には主将を務める。卒業後、滋賀県の教育委員会や高等学校教員を務める。県立八幡工業高等学校教員時にラグビー部監督として、同校を7年連続花園出場に導く。1996年に帝京大学ラグビー部の監督に就任。2009年-2017年『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』において9連覇を達成。

春、コロナ禍で一時的解散

新型コロナウイルス感染症の蔓延は、私たち帝京大学ラグビー部にも大きく影響を与えました。4月に緊急事態宣言が発出されましたが、ラグビー部はその直前に一時解散することを決めました。当初、新型コロナウイルスについての情報が錯綜し、何が危険で何が低リスクなのかが多々見えないう状態でした。「正しく恐れる」ことをめざしましたが、何が正しいのかが分からなかった中で、「とにかく恐れる」状態から始まりました。最も問題だったのは、人によって恐れ方に差があったことです。危険性を強く意識している学生とそれほど気にしていない学生とが混ざり合った状態でした。

その後、ウイルスの危険性に対する世の中の不安が急激に高まっていき、いつ緊急事態宣言が発出されてもおかしくない状況となりました。そのため、集団生活はリスクが高いと判断し、「チームの一時解散」を判断しました。ほとんどの学生が実家に帰りましたが、ご家庭に高齢の方がいらつしやるなどの理由で寮に残った学生も20人前後ありました。

何が正解かは今でも分からないことが多いのですが、この状態の中でどんな成長ができるか

つながる基盤だと考え、対外試合はすべて取りやめて、部内試合のみを行いました。最も重要なのは、夏合宿を学生一人ひとりの人格形成の場にするのでした。学生たちが自分自身で「価値を創造している」。ようになるための取り組みをしていきました。春にできなかった「行動への根拠をつくる作業」を、キャプテンを中心に自分たちで考えながら行う時間を持ったことは、とても有意義だったと思います。

何を目的とした チームワークなのか

コロナ禍が一刻も早く収束することを願っていますが、しばらくはコロナ禍で活動していかねばならないと覚悟しています。その現実を受け入れた上で、学生たちがどのように成長していかれるかがとても重要になります。現在のよう大変な状況を経験したことで、彼らの成長を感じることもありました。新型コロナウイルスへの対処をひとつ間違えると、それは命にかかります。この「命にかかわる」という意識が、真のチームワークの構築につながっているように感じています。これまでは「勝つためのチームワーク」

を守るためのチームワーク」に

をチームスタッフで整理しました。その際の基本キーワードになったのが「健全」です。「健康かつ安全に」という意味づけをし、「全」の文字には「全員」という意味も含め、この「健全」を土台にして、あらゆる活動をしていこうという方針が決まりました。

寮に残った学生たちについては、私たちが守っていかねばなりませんでしたが、彼らは自分たちでお互いの考えを交わし合っておりました。キャプテンの松本健留も残っていたので、私たちスタッフは見守りながらキャプテンに任せるようにしました。ずっと近くで見えていたが、彼らの団結力がどんどん高まっていく様子にスタッフも心の和みを感じることができました。

細心の注意を払った再集合

解散後、今度はいつ、どのように再集合すれば良いかの検討を始め、まずはみんなに実行してほしいことをまとめた「プロトコル」を作成し、学生および保護者の方にお伝えしました。「プロトコル」は1から4までつくり、再集合に際して行ってほしい事項を共有しました。

さらに、スタッフで手分けをし、学生全員と個別のオンライン面談を行っています。両者は「本気度の部分で決定的に違います。『One for All、All for One』のラグビーにおいて、「仲間を守るための本気のチームワーク」が醸成されることは、学生一人ひとりにとってもチームにとっても、とても大きなことです。

学生でも大人でも、完璧な人間はいません。私自身も未熟で、もっともっと成長していかなければいけないと思いつつ、日々を過ごしています。学生も同じように、成長のための前進を続けてほしいと思います。同様に、チームも完璧ではありません。良いチームワークが醸成できているように見えても、必ずどこかには隙がありますし、油断も入り込んでいきます。そのことを理解して活動を続けることで、学生もチームも成長していけると思っています。

学生たちには、「大学日本一」という目標に向かって「本気のチームワーク」を大切にしながら「挑戦」してほしいと思っています。

まずは、対抗戦の一試合一試合を全力で戦ってまいりますので、どうか学生たちの「挑戦」を温かく見守っていただけたらと存じます。

再集合はとも緊張感を伴うものでした。緊急事態宣言が解除されたのは6月初旬でしたが、新型コロナウイルスが消えたわけ

ではないので、帝京大学医学部附属病院のドクターからの意見なども聞き、一気に集合するのは危険と判断して「分散集合」という手法を取りました。

具体的には、2週間単位で少しずつ帰寮してもらうことにしました。帰寮したタイミング毎にグループ分けし、感染防止とクラスター発生の防止、トレーニング再開に伴うけが防止などの安全性を考慮し、徐々に体を慣らしながら生活やトレーニングを再開していきました。ほぼ全員が帰寮し、本格的な活動に移行したのが7月末くらいでした。

**全員のPCR検査を経て
夏合宿へ**

8月になると、夏合宿を実施しても良いものかどうか問題になり、世の中の状況を見つつ、

菅平高原の宿舎の方々の考え方、宿泊先で一緒にいる可能性のある他チームの考え方などを伺いながら、最終的には「実施」という判断をしました。夏合宿に向けて「健全」という土台への「あるべき正しい行動」を徹底し、菅平に向かう際には学生一人ひとりの安全対策への意識、行動もかなり定着していました。

それでも、より安全・安心を保つ上で夏合宿に入るというところで、帝京大学医学部附属病院、帝京大学スポーツ医学センターの協力も得てPCR検査を行い、全員の陰性を確認した上で夏合宿へ向かいました。大学のサポートには心から感謝しています。

夏合宿では対外試合の予定もありましたが、安全に帰ることこそが大学や保護者、菅平の方々への恩返しになり、一番の強化に

ENJOY & TEAMWORK

TEIKYO UNIV.
SPORTS OFFICIAL YEARBOOK
2020



RUGBY



「意識の改革を徹底し、 本当の意味でチームをひとつにしたい」

今だからこそ必要だった時間

新型コロナウイルス感染症の影響で、4月の時点でチームは一時解散になり、6月から安全を確保しつつ再集合し、チーム練習を再開しました。一時解散していたことでその期間はチームとしての活動はできないというマイナス面も多少ありましたが、それ以上に自分を見つめ直したり、チームを見つめ直したりするための良い期間になったと捉えています。2年間『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』で優勝を掴めず、結果を出すことができなかったチームを、再び結果の出せる強いチームにしていくなか、チームとしての改善点などを見つめ直すために必要な期間でした。

また、チームだけではなく自身を見つめる時間も増え、主将としてのチームでの在り方を理解できていなかったことにも気が付きました。同時に、常に考えるという習慣も身に付き、自分自身も変わってきたように感じています。

いざチームに目を向けてみると、一時解散前はグラウンド外での取り組みがとて雑になってしまっていたことに気が付きました。例えば、当たり前に行っている掃除。これまでは面倒に思うこともあったけれど、考える時間が増

え、掃除自体の価値を理解することができました。それは、面倒なことから逃げない人間、面倒なことでも率先してできる人間こそが、グラウンドの中でも痛いことや面倒なことから逃げずに、率先してプレーできるということ。痛いこと、面倒なことから逃げずに体を張り続けられる人は仲間から信頼される。グラウンド外の取り組みが雑だと、プレーも雑になる。そういう人間は決して信頼されないと考えています。

みんなの声で築かれた覚悟

三年時にはまだ、主将を務めるという強い覚悟はなかったかもしれません。もちろん、結果が出ていないチームを何とか変えたいといった思いはありました。しかし、「絶対に変えてやる」という強い意志、覚悟は持っていました。そんな僕でしたが、三年時の終わりにキャプテンを誰にするかを話し合った際、同年のみんなから自分の名前が挙がったことで意識が変わりました。信頼してくれるみんなのためにも、自分がやらなければという覚悟が決まり、そこから「このチームを絶対に変える」という強い思いが生まれました。

自分はこれまでだけでも多く、試合経験が少ないという点では不安な部分もありました。しかし、

試合経験が足りない分は先回りして考えて準備していくしかないと考えています。分からない分は常に先を考えて、想像して、準備する。そして、日常生活も試合と同じだと意識して過ごすことで、少しでも経験不足を補っていききたいです。

また、副将の北村将大や奥村翔といった、下級生のころからずっとAチームでの試合を経験してきたメンバーがそばで支えてくれているので、経験が足りない部分は彼らの力を借りてやっていきたいと思っています。

ラグビーでみんなを笑顔に

四年生にはもう残された時間は少なく、来年もう一度やり直すこともできません。一日一日の重要さを意識しながら、常にやり残すことがないようにしたいです。同時に、この部の良い文化が来年以降にもつながっていくように、僕たち四年生が手本となっていて後輩たちに伝えていきたい。僕たち四年生が雑な部分を見せてしまえば、後輩たちはそれに倣ってしまいます。四年生が毎日を全力でやり切る姿を見せることは、後輩たちにも良い形で影響し、部の良い文化が続いていくことにつながると考えています。

昨年の『ラグビーワールドカップ2019』では、帝京大学ラグ

ビー部の先輩たち（7人）が活躍しました。世界と戦う先輩たちの姿はとても刺激になりました。そして、常に厳しいところ、痛いところに向かっている姿から、自分たちがめざすべきチーム像が見えたように思います。

やはり今年のチームは、一人ひとりが厳しいところから逃げず、自ら率先して挑んでいく人間たちになるためには苦しい状況から、さらに力を出せる集団になることが必要。そのためには、やはりまずはグラウンド外での取り組みが重要になってくると思うので、改めて意識の改革を徹底していきたいです。

そのベースが築かれることで、お互いを尊敬する気持ちや、信頼し合う気持ち、感謝する気持ちが部員同士に生まれ、チームの結束も自然と高まっていくはず。公式戦までには、チームを本場の意味でひとつにまとめていきたい。みんなに言葉を投げかけるときもうわべだけの言葉にならないように、説得力を持たせて発信していきたいです。

今シーズンの目標はもちろん大学日本一。例年とは異なる状況ではありますが、自分たちがやるべきことは変わりません。日本一になるためにやるべきことをやり切り、最後にみんなが笑顔で終われるシーズンにします。

Captain Interview

見据えるべき 勝利への一歩

春シーズンの公式戦は中止され、チームも一時解散を余儀なくされた。そのイレギュラーな状況を「自分を見つめる貴重な時間になった」と、主将・松本健留は語った。

【四年・FL/主将】
松本 健留
MATSUMOTO Kento



—めざすチーム像を教えてください。

北村 まず理想像をしっかりと描き、そこから自分たちが足りないものを理解し、追求できるチームにしたいです。

奥村 一人ひとりが現在から逃げないチームをめざしたいです。どんな状況下でも自分をコントロールし、やるべきことの価値を見極めて行動できるチームをめざしています。

金 僕は、一人ひとりが自立することが重要だと考えています。誰かに言われてからやるのではなく、それをやる意味や必要性を自分自身でしっかりと理解し、主体的に取り組むチームにしていきたいです。

北村 そのためにもグラウンド内だけでなく、グラウンド外でもバイスキャプテンとしてチームを観察し、助けが必要な部分に積極的に関わっていき、自分が自分の役割だと考えています。SOとしてもそういった全体への目配りが大切ですし、常に全体を見るということを意識しています。

奥村 リーダーとして意識しているのは、「姿」と「言葉」のふたつ。何事にも率先して自分から向かっていく姿を見せていき、何かを伝えたいときにはただ単語を並べるのではなく、行動に裏づけされた説得力のある言葉

も、優勝を経験していない後輩たちはイメージを描きづらいはずなので、僕たちが高いスタンダードを示すことで、少しでもイメージしやすくしていきたいです。

—昨年からの変化を教えてください。

北村 三年時にもリーダーを務めていましたが、まだまだ周りを見られていなかったのが、四年生になってからはもっと周りを見ようと意識するようになりました。練習でも本気の姿を見せていかないと言葉に説得力も出ませんし、感じてほしいことも伝わらないと思うので、そういった姿を見せようという意識が強くなりました。

奥村 昨年は自分のことだけで精一杯でしたが、以前よりも視野が広がり、今年は四年生としてさらに責任感を持つようになりました。試合ではグラウンドへ絶対に立たないといけないと思いますし、どんな場面でも立ち向かっていく姿を見せなければいけないと思っています。また、もっと良い方向にチームを変えたいという思いが、より一層強まっています。

金 FWリーダーを任せられ、以前よりもリーダーシップを強く意識するようになりました。相手に伝えたいことがあるときは、まず自分の行動で示していか

を発するようにしています。

金 僕はFWリーダーとして、特に姿で見せることを意識しています。FWというポジションは特に厳しいところに自らひるまずに向かっていくことが求められるので、プレー中に限らず、まずは自分が率先して先頭に立って戦う姿を見せることを意識しています。

—チームでの四年生の役割を教えてください。

金 昨年との違いは、最上級生になったことで一人ひとりに責任感が生まれ、役割にかかわらず、自らリーダーシップを取ってチームに貢献しようという人が増えています。チームで大学日本一を経験している唯一の学年ですし、優勝するチームのスタンダードを知っているのも僕たちだけ。練習でもグラウンド外でも、その高いスタンダードをモデルとして見ることが僕たちの役割だと考えています。

北村 もともと元気のある学年ですが、そのエネルギーをどうチームに活かせるかが課題だと思います。

奥村 このエネルギーが、僕らの学年の良いところだと思います。なので、後輩たちにエネルギーをうまく分けてあげられるようにしたい。でも、漠然と「優勝をめざして頑張ろう」と言葉にしている

いと説得力が出ないと日々痛感しています。日常生活のちょっとした部分でも説得力を持たせられるよう、常に見られていることを意識していきたいです。

—今シーズンの目標を教えてください。

北村 このチームの最後を笑顔で迎えるためには、チームがより一丸となり、チームとしてのレベルを高めていく必要があります。リーダーとして姿と言葉で道を示しながら、優勝に向かってチャレンジし続けていきたいです。

金 今年は結果にこだわりたい。そして、最後に優勝したい。この2年間優勝できていないのは、どこか自分たちの甘さがあったからだと考えています。本気で優勝をめざすなら、個人としてもチームとしても妥協をしないことが必要です。100%本気でやり切ることを意識していきたいです。

奥村 めざすところはもちろん『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』優勝。自分たちの頑張りが、そのままチームの成長につながっていくと思うので、最高学年として、リーダーとして、手を抜かず後悔のないようにやり切っていきたいです。そして、最後は最高の笑顔でグラウンドに立ちます。

4th Grade Players Crosstalk

姿と言葉が紡ぐスタンダード

チームで唯一『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』優勝を経験している四年生たち。優勝するチームのスタンダードを知っている彼らが描くチーム像とは。そのビジョンを、二人のバイスキャプテンとFWリーダーが本音で語り合った。

[四年・SO/FB・副将]
奥村 翔
OKUMURA Kakeru

[四年・SO・副将]
北村 将大
KITAMURA Masahiro

[四年・FL/No.8]
金 隆生
KIM Ryung Seng



上級生としての矜持

三年生はいわゆる上級生と呼ばれ、これまで以上にチーム全体のことを考える立場となる。
「自身の成長が、チームの成長に直結する」と語る彼らに、チームへ抱く思いを聞いた。

[三年・SO/FB]
押川 敦治
OSHIKAWA Atsushi

一人ひとりが自立し チームのスタンダードを上げる

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け、チームも4月に一時解散となりました。多くの選手が帰省しましたが、僕は実家に帰らず、寮に残ることにしました。不安の多い時期ではありましたが、この期間に自分自身と向き合う時間がたくさん取れたことで、とても大きく成長できた実感しています。

上級生としてチームのことを考える時間を多く取れたこと、僕と同じように寮に残ったメンバーたちとチームについて話し合うことができたこと、そして自分がチームのために何ができるかを改めて考えることができた。これらはすべて、この時間があったからこそ得られたものです。他にも四年生の話し合いを間近で見たり、話し合いに参加したことで、より一層、チームのことを俯瞰して見られるようになり、これからどう進んでいくべきか考えることもできました。

また、安全に配慮しながらトレーニングルームを活用し、個人練習にも打ち込みました。その成果もあってウエイトトレーニングの数値も上がり、フィジカルの面でも大きく成長できました。

今年の三年生は真面目なメンバーが多い一方で自分からガツガツ行くタイプが少なく、様子をうかがって動かすことが多い傾向にあります。しかし、その

まだまだすべてが四年生任せになってしまっているので、早く成長しなくてはならないと感じています。四年生が全体を見て動くことができるように、一、二年生のサポートなどは僕たち三年生が率先してやっつけていかなければなりません。また、練習や試合でエネルギーをしっかりと出していき、必要です。そういった点で、僕は四年生の奥村翔さんを尊敬しています。熱いものを持ち、大事なところでしっかりと表に出して、言いにくいことでも勇気を出して相手に伝えてくれる。それがチームのためになるとわかっていてからだと思います。そういった部分を見習っていきたくです。

理想のチームは、メンバー一人ひとりが自立し、自分で考えて行動できるようになることだと考えています。生活面でもラグビーの面でも、一人ひとりが目標を掲げ、意識を高く持ちながら行動できれば、チームのスタンダードを向上させることができるはずです。少しずつでもスタンダードのレベルを高めていきたいし、そのレベルを高い場所で提示し続けることが上級生の役割であり、責任だと考えています。大学日本一という目標を達成するために、チームのスタンダードを向上させることを意識し、高いレベルを引き継いで活動していきたいです。

姿と言葉でチームを牽引し 頼られる存在になる

上級生になり、自分でも変わったと思うことが多数あります。例えばみんなで話し合いを行う際、今までは誰かに聞かれたり、指名されてから発言することが多かったのですが、今年は自分から下級生に発言を促したり、キーポイントを示すような場面が増えました。聞かれる立場から聞く立場に変わったことで、リーダーシップも少しずつ取れるようになり、自分でも成長を感じています。この成長は、昨年「関東大学対抗戦」に出場し、その経験から自分の中でやるべきことが明確になったこと、そして自分に余裕ができ、その余裕の使い方が分かってきたことが大きく影響していると考えています。

学年全体を見ても、三年生一人ひとりがしっかりと目標を持ち、自分に必要なことをしっかりと考え、自主的に行動できるメンバーが多くなってきました。また、これまでは自分のことだけで一杯だったメンバーも、練習などでリーダーシップを率先して取るようになるシーンが増えていきます。練習前に学年で集まった際も、「四年生に任せ切りにするのはなく、三年生がもっとリーダーシップを取って、さらに密度のある良い練習にしよう」と言い合っていますし、去年よりもチーム全体を見ることができるようになっていると感じています。

僕自身、これまでは学年をまとめることや、二年生のときには一年生の様子を見ることだけに注力していましたが、今年は学年のリーダーではなく、チームのリーダーという自覚を持ってやっていきたいです。

今シーズンは「全国大学ラグビーフットボール選手権大会」にFL7番として出場し、チームを優勝に導く活躍することが目標です。リーダーとして、姿と言葉でリーダーシップを見せ、みんなに信頼される人間になりたいです。昨年主将を務めた本郷泰司さん(現・NTTコミュニケーションズシヨンスシャイニングアークス)が僕のめざすリーダー像なのですが、本郷さんのようにプレーでも言葉でもみんなを引っ張れる選手になりたいです。

また、昨年の「ラグビーワールドカップ2019」では、同じ帝京大学のグラウンドで過ごした先輩方が世界を相手に互角以上に戦いました。その姿を見て、とても刺激を受けました。自分も大学生活をしっかりとやり遂げ、社会人になってもラグビーの最前線で活躍したいです。

今年のチームは能力の高い選手が多く、しっかりとまとまって戦うことができれば必ず優勝できると思います。自分もリーダーシップを発揮して、勝利に貢献できるように頑張ります。

[三年・FL]
上山 黎哉
UEYAMA Reiya



僕たちが吹かす新たな風

1年間で大きく成長した二年生たち。
彼らは確実に自律し、そして自立しつつある。
個性派ぞろいの彼らが今できる、チームに必要なこととは何なのか。
ポジション転向を経験し、新たなことに挑戦し続ける二人が語り合った。

[二年・HO]

山添 圭祐
YAMAZOE Keisuke

[二年・SH]

谷中 樹平
TANINAKA Kippe

——昨シーズンから現在までの変化を教えてください。
山添 生活面で慣れてきたこと
もありですが、一番変わったのは
理解力です。一年時よりもか
なり成長している実感がありま
す。当時は分からないことは先
輩に聞き、ヒントをもらってよ
うやく理解できることが多かつ
たのですが、今では自分で考え
て理解できることが増えてしま
した。
谷中 一年時と比べて自分自身
に少し余裕ができたことで、自
信や積極性が身につけてきたと
思います。後輩ができたからか
もしれませんが、もっと自分か
ら動くようになった前向きな姿勢
を出せるようになってきました。
積極的になれたことでプレーの
質も上がってきましたし、ウエ
イトの数値も上がってきていま
す。

——二年生の特徴を教えてください。
谷中 個性が強く、一人ひとりの
主張がしっかりとある学年です。
たくさん意見が出るので、ぶつかり
合うこともあるけれど、それも
良いことだと思っし、仲が良いか
らこそ言い合える。
山添 個性はたしかに強い。みん
な自分を持っていてというか、そ
れぞれが具体的なビジョンを強
く持っている。ただ、それをうま

く全体に共有できないメンバー
もいるので、全員がもっと自分の
考えを共有してあげたら良いと
思います。
谷中 確かに少し偏っているところ
はあるかもしれない。僕たち
リーダー陣がよく言っているの
は「意見を言えない人が出てしま
うのが一番良くない」ということ
なので、全員が意見を言える環境
をつくっていききたいです。自分が
できていないことはなかなか相
手にも言いづらいかもしれないこ
に気が付いたら伝えるべき。そう
すれば言われた相手も気が付く
し、言った方も自分も意識するよ
うになる。これを二年生間では
「チェック&チェック」と呼んで
います。

——チーム全体に必要なことを
教えてください。
山添 まだまだ上級生に頼りず
ぎている部分はあると思います。
下級生でも言うべきことは言う
べきだし、やるべきことはやる
べきだけれど、今は上級生に言
われてから行動に移すことが多
いです。

谷中 上級生の負担を小さくす
るためにも、各学年がしっかりと
やるべきことをやらないとけ
ないのですが、どうしても上級
生に甘えてしまいがちです。
山添 少しでも現状を改善する

ために、まずは継続する力を身
につけることにしました。その
ひとつとして、二年生は練習後
のゴミ拾いを継続しています。
谷中 そうした小さなことから、
継続する力を身につけていこう
と考えています。一人ひとりが
変わることチームが良い方向
に変わっていきますし、できる
ことが増えることで価値観が養
われ、未来の自分にもつながる
はずだと思います。そういった意
識的に継続してやるようにし
ました。また、練習前に二年生
だけで集まり、今日やるべきこ
とを改めて確認する習慣も付け
ています。

山添 これらは二年生のみで決
めたルールなのですが、まずは
二年生一人ひとりが自分たちの
やるべきことをしっかりとやる
ことによって、チーム全体にも
良い影響を与えることができます
と僕たちは考えています。細か
いことですがゴミ拾いなど、プ
レーに直接関係ないように見え
る些細なことでも、自分がやる
と決めたことはしっかりとやり
きろうと、みんなで話していま
す。

——目標としている先輩を教え
てください。
山添 キャプテンの松本健留さ
んです。同部屋なのですが、私
生活でもきちんとしているし、

自分のやるべきことを理解し、
しっかりとできている人だと思
います。チームのことをすごく考
えている様子も部屋で見えてい
ますし、強い意志や信念を持って
いて、とても憧れています。
谷中 僕はバイスキャプテンの
北村将大さんに憧れています。
実は中学、高校、大学と、ずっと
一緒にやらせてもらっています。
僕がずっと追いかけてきたんで
すけれど(笑)。北村さんは以前
からトップで戦うために、自身
が成長するために、きついこと
も率先してできる人でした。今
もチームの先頭で頑張っている
姿を見て憧れますし、自分もしっ
かりやらなければと思います。

——今シーズンへの意気込みを
教えてください。
山添 今シーズンからHOに転
向したのですが、「転向したばか
りだから」と弱気になることな
く、絶対に2番に定着するんだ
という強い気持ちで挑戦してい
きます。そして、大学日本一に
なれるようにチームに貢献して
いききたいです。

谷中 ちょうど1年前にSHに転
向したのですが、ようやく新し
いポジションに迷いや違和感が
なくなってきました。帝京大学
のSHとして定着し、そして優
勝の瞬間にグラウンドに立つて
いられるように頑張ります。





Student Coaches Crosstalk

成長に直結する チームへの思い

帝京の強さの秘密とも言える学生コーチの存在。
監督・コーチと選手とのパイプ役を担う彼らを代表し、
原銀太郎[四年・CTB]、堀真太郎[四年]、
清水岳[四年・PR/HO]に
日本一をめざす覚悟と決意を聞いた。

——学生コーチになった理由を教えてください。
堀 僕は入部の際、岩出監督に「このチームに貢献したい」と伝えて入部したので、それを体現できるチャンスだと思って志願しました。
原 僕は日本一になることを目標に入部し、最終学年で一選手として頑張るだけでなく、チームの先頭に立って日本一に貢献したいと考えたことが理由です。この役職で、チームを引っ張っ

ていきたいと思っています。
清水 僕もチームに貢献したい気持ちが大きかったからです。プレーヤーとしてはもちろん、チームが優勝するために他に何かできないかと考え、学生コーチになるうと思いました。
——学生コーチのやりがいを教えてください。
原 僕はC、Dチームを担当しているのですが、どうすればみんなのモチベーションをもっと高められるかを考えることが多いです。チームの問題をいかに自分の問題、もしくはそれ以上に捉えて考えることができるか。そこにやりがいを感じますし、自身の成長につながっている実感もあります。
清水 学生コーチとしてチームのために何ができるかを考えて行動することで、その行動が自分のためにもなると理解できるようにになりました。以前は面倒に感じていたこともそう感じなくなり、これはラグビーだけではなく、今後の人生においても糧になる気付きだと思っています。
堀 僕は練習のキーポイントをしっかり考え、それを選手に伝えて選手がそれを実際にプレーすることができた瞬間にやりがいを感じます。自分自身のコミュニケーション能力が上がっていることを実感できます。

——今シーズンへの意気込みを教えてください。
原 個人としては、『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』決勝の舞台に立ちたいです。チームとしては、日本一になること。その日本一のチームを支えるために、できることを全力でやっていきたいです。
清水 個人の目標は、『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』決勝でピッチに立って優勝すること。ただ優勝するだけではなく、学生コーチとしても体を張り続ける姿を見せたいです。チームのために自分は何ができるかを考え、良いことは良い、悪いことは悪いとしっかり伝え、みんなと信頼関係を築いて目標に向かっていきたいです。

やるべきことを見極め 確実に自分の力にしてい

[一年・FL/No.8]

奥井 章仁

OKUI Akito

帝京大学ラグビー部は僕が幼いころから強いチームで、いつか自分もこんな強いチームでプレーしてみたいと思っていました。高校時代、先輩たちから「帝京大学には人として成長できる環境がある」と聞き、ずっと憧れていました。「脱・体育会系」という文化があることは知っていましたが、実際に入部してみると先輩たちがさまざまな面でサポートしてくれ、わからないことも何でも細かく教えてくれたりと、日々充実した環境を実感しています。自分は会話に関しては受け身なタイプなのですが、先輩たちがささやかに声を掛けてくれるので、入部前よりもたくさん話せるようになりました。そうした先輩たち主導で築いてくれた関係性が、プレー中の密な連携にもつながっている

と感じています。しかし、上下関係が緩いわけではありません。親しき仲にも礼儀がある、そのメリハリがチーム力の秘訣だと思います。
将来の目標は、みんなから頼られ、憧れてもらえる選手になること。僕のプレーを見た人が「奥井選手、すごいな」と思ってくれるようなプレーができるようになりたいです。そのためにはまず、目の前のやるべきこと一つひとつを着実にこなし、一試合でも多く試合に出られるようになりたいです。まだレベルアップが必要なことばかりですが、「一年生だからこのくらいでいい」と妥協はせずに、先輩たちに負けないプレーができるように、そしてレギュラーとして定着できるように、自分で限界を決めずに成長していきたいです。



1st Grade Players Interview

急峻な成長カーブ

「脱・体育会系」「充実した施設」「スタッフの手厚いケア」…
帝京大学ラグビー部で数カ月を過ごした一年生たちは今、何を感じているのか。

[一年・HO/PR]

江良 颯

ERA Hayate

恵まれた環境に感謝を忘れず しっかりと目標を見据えていく

帝京大学ラグビー部の魅力のひとつに、帝京大学スポーツ医科学センターがあります。以前けがをした際に利用したのですが、設備はもちろん、スタッフの対応も素晴らしい、すぐにプレーに復帰することができました。
目標とする選手は、OBの堀越康介さんです（現・サントリーサンゴリアス）。プレースタイルも似ていると思っていますし、1番と2番の両方ができることも共通点で、人としてもとても尊敬している先輩です。PRやHOといったポジションは、やはりセットプレーの安定が重要で、その精度によってチームから信頼されるようになると考えています。堀越さんのようにチームから頼りにされ、どんな状況でも恐れずに前進するプレーヤーになりたいです。高校時代

は当たり負けすることはほとんどなかったのですが、帝京大学ではBKに負けしてしまうこともあるので、まずは当たり負けしない体をしっかりとつくり、Aチームで試合に出られるようにたくさん経験を積んでいきたいです。
帝京大学ラグビー部は先輩後輩の仲が良く、のびのびとラグビーができます。また、コーチやスタッフも優しく、戦術や私生活で分からないことも親身になって相談に乗ってくれます。そういった環境があるからこそ、僕たちは自分のめざすべき目標にしっかりと向き合うことができていると思います。この環境を当たり前だと思わずに日々感謝し、プレーや結果で恩返しできるように、チームに貢献していきたいです。



ラグビー部 活用法

身体づくりとリカバリーを、1カ所で行うことができます。
選手たちは授業の合間や練習、試合後にセンターを活用しています。

トレーニングエリア



最新の設備を活用し、フィジカルコーチによる指導が行われています。

食堂



管理栄養士が考案した栄養バランスのとれた食事を、トレーニングや練習後、すぐに摂取できます。

ウォーターリカバリー室



炭酸泉と冷水を使った交代浴ができ、練習や試合後のリカバリーに活用しています。

治療室



トレーニングエリアには治療室もあり、さまざまな機械を使った治療が可能です。

スポーツ現場と近いドクター



診察

センターにあるクリニックでの診察以外に、グラウンドにもドクターが足を運んでいます。けがをした直後の診察や、けがをする前の状態をチェックし、予防対策を行っています。



高気圧酸素治療室

けがが起きてしまったときに行う、自己治癒力を促進させる治療です。少しでも早い競技復帰の実現に役立っています。



帝京大学医学部附属病院

循環器内科や脳神経外科、各種専門ドクターによる診察や治療、手術対応など、大学病院と連携して対応することで、より安全・安心な競技環境づくりを実現しています。

Sports Science & Medicine

帝京大学スポーツ医科学センター

スポーツ医科学をさらに究め、 学生たちを安全に、健康に、強くする

帝京大学スポーツ医科学センターは、「メディカル」「フィジカル」「サイエンス」「テクノロジー」の各分野の専門スタッフがチームを結成し、分野を超えた連携をしながら各クラブをサポートしています。「うちかつ強さを」をスローガンに掲げ、学生アスリートの希望を叶えられるように多角的なサポートをしています。

Total Support System

各クラブを4方面から支える
トータルサポートシステム

Technology Support

テクノロジーサポート

テクノロジー部門では、情報処理技術を活用し、サポートに必要な情報を管理するソフトウェアサービスの開発を行うことで、選手への効率的なサポートを実現しています。また、練習や試合の映像をいつでも、どこでも確認できる情報収録 & 映像データベースシステムも構築しています。

Science Support

サイエンスサポート

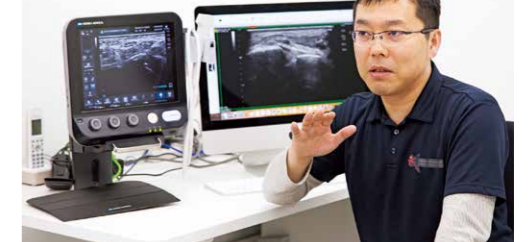
サイエンス部門では、選手に関するさまざまなデータを測定・分析し、それらを検証して科学的根拠に基づき新しい測定法・評価法の開発を行っています。



国内屈指のスポーツ医療でアスリートを守る

帝京大学スポーツ医科学センターは、国内有数の充実した医療設備を備え、スポーツ傷害の予防と治療に取り組んでいます。スポーツ医療を推進する「メディカルチーム」の強みのひとつは、エコー（超音波）による診察です。スポーツ医科学センターの1階にあるスポーツ医科学クリニックでは、選手は診察室に入ってから、わずか数分で適切な診断を受けられます。たとえば、練習で足関節をけがした場合、エコーを用いればどのじん帯がどの程度損傷しているのかまでその場で診断できます。そのため、その選手に適切な治療やリハビリを、トレーナーと連携して速やかに提供できるのです。また、けがを早期発見して悪化を防ぐことや、けが予防のためにトレーニングを見直すことも可能です。さらには、学内外の医療機関と連携しているため、状況に応じて肘や膝など各分野の権威とされる医師を紹介することもできます。ありとあらゆる手段で選手を守ることが私たちの役目です。

帝京大学
スポーツ医科学クリニック
菅原 潤 院長



撮影=川本聖哉 取材・文=外山武史

Medical Support

メディカルサポート

メディカル部門では、超音波やMRI、高気圧酸素治療室などを備えたスポーツ医科学クリニックを八王子キャンパス内に開設し、スポーツ傷害に対する診療を行っています。また、クリニックでの診療にとどまらず、練習・試合・合宿にも帯同し、アスリートとの日常的なかかわりを通じてスポーツ傷害の早期発見・予防を行っています。



Physical Support

フィジカルサポート

栄養

栄養グループは管理栄養士により構成され、各測定や調査に基づく個々の栄養状態から競技特性を考慮したうえで、コンディション維持・向上を目的とした栄養サポート（栄養指導・食教育、食事提供等）を行っています。

トレーナー

トレーナーグループにはアスレティックトレーナーとフィジカルコーチが所属し、選手に対する傷害の予防とコンディショニング、スポーツ傷害からの早期復帰支援などの専門業務に加え、選手の自立を促す活動に取り組んでいます。

2020年度 帝京大学ラグビー部全部員リスト(ポジション別)

	学年	氏名	出身校	身長	体重	
PR	4	近藤 芽吹	新潟工業	177	115	
	4	清水 岳	大阪桐蔭	174	108	
	4	田中 大介	延岡星雲	173	113	
	4	東浦 仁一朗	上宮太子	183	122	
	4	安岡 大樹	東京	173	100	
	4	渡邊 元太	大分臼杵	181	126	
	3	伊藤 健人	中部大学春日丘	181	117	
	3	奥野 翔太	常翔学園	177	114	
	3	河島 ミーシャ	筑紫	182	110	
	3	小林 恵太	宮崎西	174	108	
	3	曹 光成	大阪朝鮮	175	105	
	3	泓 城蓮	関商工	180	112	
	3	細木 康太郎	桐蔭学園	178	115	
	3	山本 溪太	國學院大学久我山	177	110	
	2	上路 慶人	光泉	170	96	
	2	金森 栄人	秋田工業	175	124	
	2	康 勇樹	東京朝鮮	187	116	
	2	小松 桃斗	高鍋	177	123	
	2	高井 翔太	常翔学園	171	112	
	2	崔 暢賢	大阪朝鮮	179	124	
2	長谷川 翔舞	京都工学院	184	113		
1	上杉 太郎	熊本西	176	113		
1	黒岩 優	高鍋	179	109		
1	新里 秀斗	佐賀工業	177	111		
1	田維 瞬	佐賀工業	183	120		
1	津村 大志	御所実業	172	104		
1	西野 拓真	京都成章	186	123		
HO	4	荒川 海斗	帝京八王子	174	110	
	4	上片 風馬	長崎北陽台	177	105	
	4	加地 王虎	伏見工業	178	104	
	4	李 承赫	大阪朝鮮	179	105	
	3	大澤 陸大	黒沢尻北	169	98	
	3	照内 寿明	國學院大学栃木	168	95	
	2	中谷 基希	高岡第一	174	100	
	2	福井 翔	東福岡	171	96	
	2	屋部 謙仁	名護	175	98	
	2	山添 圭祐	長崎北陽台	177	104	
	1	江良 颯	大阪桐蔭	171	106	
	1	佐藤 颯亮	川越東	177	98	
	LO	4	オト ジョシユア 輝恵	八王子学園八王子	191	113
		4	久保 克斗	國學院大学栃木	191	114
		4	野田 響	荒尾	187	118
		3	大塚 碧生	光泉	181	106
		3	後藤 孝輔	専修大学松戸	174	105
		3	藤原 清孝	関西	177	92
		2	江里口 真弘	大分東明	184	103
		2	菅井 一樹	八千代松陰	187	104
2		Alexander McRobbie	St.Kentigern College	197	107	
2		山川 一瑛	常翔学園	190	98	
1		岡 大翔	京都成章	190	105	
1		Simeone Schmidt	Saint Ignatius's College Riverview	195	113	
1		藤井 慎太郎	日本航空石川	185	100	
1		尹 礼温	大阪朝鮮	184	100	
FL		4	金 隆生	大阪朝鮮	180	102
		4	斎澤 北斗	帝京八王子	169	86
		4	古田 勇作	深谷	180	107
		4	松本 健留	大阪桐蔭	176	96
		4	安田 司	常翔学園	181	103
		4	山口 莉輝	長崎北陽台	180	108
	4	山田 悠馬	桐蔭学園	171	90	
	3	上山 黎哉	大阪桐蔭	174	96	
	3	森田 雅之	桐蔭学園	181	94	
	3	梁 潤学	東京朝鮮	175	90	
	2	鎌田 イリヤ	御所実業	175	91	
	2	金 憲輝	東京朝鮮	173	87	
	2	Mitieli Tuinakauvadra	St.Josephs College Hunters Hill	180	108	
	1	D'anjahlo Ahsui	Aorere College	190	107	
	1	奥井 章仁	大阪桐蔭	177	103	
	1	崔 然武	東京朝鮮	177	93	
	1	延原 秀飛	京都成章	182	97	
	No.8	4	高橋 怜雅	黒沢尻北	177	95
		4	築山 駿也	長崎南山	181	104
		3	Richmond Tongatama	Otahuhu College	188	121
3		中野 光基	大阪桐蔭	180	105	
3		村田 空海	京都成章	177	95	
2		岡本 流星	八幡工業	176	91	

	学年	氏名	出身校	身長	体重	
SH	4	重 海人	鹿児島実業	166	68	
	4	土永 雷	光泉	170	73	
	4	春野 日向	東京	167	70	
	3	北埜 稜磨	常翔学園	172	65	
	3	白岡 亮大	摂津	165	73	
	3	藤原 大成	専修大学松戸	163	73	
	2	岡本 泰奇	中部大学春日丘	173	73	
	2	片岡 祐二	京都成章	160	68	
	2	紫垣 幸之介	岱志	166	76	
	2	田中 怜	長崎北陽台	173	66	
	2	谷中 樹平	御所実業	177	76	
	2	前田 翔哉	常翔学園	163	60	
	1	金 成泰	東京朝鮮	170	73	
	1	鈴木 大賀	流通経済大学付属柏	175	87	
	SO	4	奥村 翔	伏見工業	179	83
		4	北村 将大	御所実業	172	87
		4	申 誠敏	東京朝鮮	170	79
		4	龍野 光太郎	佐賀工業	170	81
		3	押川 敦治	京都成章	174	87
		3	金 諒	大阪朝鮮	185	95
3		志和池 豊馬	日向	176	83	
3		西川 虎哲	京都成章	168	78	
2		高本 幹也	大阪桐蔭	171	83	
2		湯浅 宏太	桐蔭学園	170	76	
1		井上 陽公	京都工学院	174	78	
1		戒田 慶都	新田	178	86	
1		澤井 育実	京都工学院	180	87	
1		中尾 勇太	熊本西	178	90	
1		山口 泰輝	長崎北陽台	177	92	
1		山地 拓真	石神井	175	80	
CTB		4	相澤 賢志郎	流通経済大学付属柏	171	73
		4	岡村 晃司	御所実業	171	85
		4	尾崎 泰雅	伏見工業	183	95
		4	原 銀太郎	報徳学園	172	83
	4	Nicholas McCurran	Hamilton Boys High School	189	96	
	3	金 裕平	東京朝鮮	173	83	
	3	小柳 琢登	佐賀工業	187	105	
	3	人見 太基	伏見工業	173	90	
	3	芳野 友	新田	174	80	
	2	菅原 海人	京都工学院	171	88	
	2	松山 千大	大阪桐蔭	173	88	
	1	池上 玲央	筑紫	172	81	
	1	高本 とむ	東福岡	182	86	
	WTB	4	河添 貴太郎	長崎南山	174	80
		4	神座 立樹	専修大学松戸	178	79
		4	木村 朋也	伏見工業	174	77
		4	杉永 将三	長崎南山	175	83
		4	平坂 海人	日向	176	88
		4	薬師寺 晃	大分舞鶴	174	87
		2	岡崎 俊星	獨協埼玉	180	80
2		當真 慶	流通経済大学付属柏	180	88	
2		南 成亮	東京朝鮮	172	77	
2		長谷川 毅	筑紫丘	175	82	
1		志氣 陸王	東福岡	171	80	
1		荻村 正章	常翔学園	169	78	
1		辺 純鍾	東京朝鮮	180	82	
FB		3	小村 健太	Hamilton Boys High School	177	83
		3	上代 遼輔	専修大学松戸	173	76
		3	杉原 駿	大阪桐蔭	171	75
		2	大藪 洸太	中部大学春日丘	181	88
		2	二村 亮司	京都成章	180	87
		4	山地 健太	國學院大学栃木	170	70
		4	堀 真太郎	北越	170	83
	4	西山 幸佑	三好	178	100	
	3	石井 修真	桐蔭学園	168	76	
	4	塚原 勇斗	清真学園	177	102	
	4	堀尾 英喜	帝京八王子	172	86	
	4	安田 賢介	崇徳	176	77	
	3	増田 廣司	静岡聖光学院	166	66	
	2	中根 諒音	静岡聖光学院	175	84	
	MG	4	畠山 実希	國學院大学久我山	160	
		3	掛川 雪乃	文化学園大学杉並	166	
		3	鳥袋 うらら	普天間	157	
		3	星野 早紀	昌平	166	

PR…ブロッパー、HO…フッカー、LO…ロック、FL…フランカー、No.8…ナンバーエイト、SH…スクラムハーフ、SO…スタンドオフ、CTB…センター、WTB…ウイング、FB…フルバック、MG…マネージャー

STAFF LIST 2020

2020年 帝京大学ラグビー部 スタッフリスト



管理栄養士
藤井 瑞恵
FUJII Mizue
順天堂大学
帝京大学スポーツ
医学センター 助教



管理栄養士
堀内 麻央
HORIUCHI Mao
文教大学
帝京大学スポーツ
医学センター 助手



総務
藤本 蕾
FUJIMOTO Tsubomi
東海大学



チームドクター
福田 潤
FUKUDA Jun
藤沢湘南台病院
健康スポーツ部 部長



チームドクター
小柳 匡史
KOYANAGI Masashi
藤沢湘南台病院



薬剤師
國分 洋
KOKUBU Yo
藤沢湘南台病院



治療スタッフ
佐藤 淳一
SATO Junichi
オアシス馬引沢鍼灸
治療院



理学療法士
吉岡 慶
YOSHIOKA Kei
緑園ゆきひろ整形
外科



理学療法士
天満 晃
TENMA Akira
緑園ゆきひろ整形
外科



フィジカルコーチ
新田 博昭
NITTA Hiroaki
サンノゼ州立大学
大学院



アスレティックトレーナー
遠藤 大介
ENDO Daisuke
東京健康科学専門
学校
(有)トライ・ワークス



アスレティックトレーナー
林川 将吾
HAYASHIKAWA Shogo
サザンミシシッピ大学
(有)トライ・ワークス



アスレティックトレーナー
関口 愛子
SEKIGUCHI Aiko
筑波大学大学院
帝京大学スポーツ
医学センター 講師



アスレティックトレーナー
鶴健一朗
TSURU Kenichiro
早稲田大学
帝京大学スポーツ
医学センター 助教



アスレティックトレーナー
牧野 香利
MAKINO Kaori
日本工科大学八王子
専門学校



通訳
松平 貴子
MATSUDAIRA Takako
リンカーン大学



BKコーチ
大向 将也
OMUKAI Masaya
大阪体育大学



BKコーチ
吉田 英之
YOSHIDA Hideyuki
帝京大学
(株)クボタ



BKコーチ
細野 太郎
HOSONO Taro
日本大学
横浜市立吉田中学校



スクラムアドバイザー
成 昂徳
SUNG Angduk
帝京大学
三菱重工相模原
ダイナポアーズ



ルールアドバイザー
徳留 誠
TOKUDOME Makoto
近畿大学



フィジカルコーチ
加藤 慶
KATO Kei
筑波大学大学院
帝京大学スポーツ
医学センター 助教



フィジカルコーチ
三上 紘典
MIKAMI Hiroto
イースタンシントン
大学
帝京大学スポーツ
医学センター 助教



部長
浪越 一喜
NAMIKOSHI Itsuki
筑波大学大学院
帝京大学教育学部
初等教育学科教授



名誉顧問
増村 昭策
MASUMURA Shosaku
日本体育大学



監督
岩出 雅之
IWADE Masayuki
日本体育大学
帝京大学医療技術学
部スポーツ医療学科、
スポーツ医学セン
ター 教授



FWコーチ
福田 敏克
FUKUDA Toshikatsu
帝京大学
帝京大学スポーツ
医学センター 助教




FWコーチ
伊豆 尚久
IZU Yoshihisa
帝京大学
三井住友海上ブライ
マリー生命保険(株)



FWコーチ
池田 智
IKEDA Satoru
帝京大学
三菱地所リアルエス
テートサービス(株)



FWコーチ
古田 義之輔
FURUTA Yoshinosuke
駒澤大学
横浜市立盲特別支援
学校



FWコーチ
阮 申騎
GEN Shinki
明治大学
サントリ酒類(株)

PLAYERS LIST 2020

2020年 帝京大学ラグビー部 プレーヤーズリスト



WTB

河添 貫太郎
KAWAZOE Kantaro

1998年5月23日生
医・スポーツ医学学科
長崎県・長崎南山高
174cm/80kg/B型

【ニックネーム】かん【性格】ポジティブで常に明るい【プレーの特徴】ランでゲインする【チームでの役割】ウィングとしてトライを取りきる

SO/FB

龍野 光太郎
TATSUNO Kotaro

1998年5月17日生
医・スポーツ医学学科
宮城県・佐賀工業高
170cm/81kg/O型

【ニックネーム】こうたろう【性格】マイベース【プレーの特徴】ステップ【チームでの役割】タックル、ゲームコントロール

SH

重 海人
SHIGE Kaite

1998年5月20日生
医・スポーツ医学学科
大阪府・東区東成高
166cm/68kg/O型

【ニックネーム】かいと【性格】マイベース【プレーの特徴】正確なパス【チームでの役割】クオリティボールをテンポ良く出す

FL

松本 健留
MATSUMOTO Kento

1998年7月11日生
医・スポーツ医学学科
大阪府・大阪明高
176cm/96kg/O型

【ニックネーム】まつけん【性格】何事にも全力を尽くす【プレーの特徴】激しいタックルで勢いをつける【チームでの役割】タックル、ブレイクダウンでボールを奪う

WTB/FB

神座 立樹
KANZA Tatsuki

1998年4月25日生
医・スポーツ医学学科
岩手県・専修大学松戸高
178cm/79kg/B型

【ニックネーム】タツキ【性格】いつも明るく人と話すことが好き【プレーの特徴】ランプレー【チームでの役割】前を見てスペースを見つけ、ボールを呼び込みトライを取る

CTB

相澤 賢志郎
AZAWA Kenshiro

1998年11月29日生
医・スポーツ医学学科
千葉県・酒造経済大学付属柏高
171cm/73kg/A型

【ニックネーム】けんしろう【性格】おとなしく、たまに明るい【プレーの特徴】アタック面ではランニング、ディフェンス面ではタックルが強い【チームでの役割】声を出して周りを元気づける

SH

土永 雷
DOEI Azuma

1998年7月24日生
医・教育文化学科
京都府・光泉高
170cm/73kg/A型

【ニックネーム】あずま【性格】好奇心旺盛【プレーの特徴】パス【チームでの役割】フォワードとバックスをつなぐ

FL/No.8

安田 司
YASUDA Tukas

1999年3月28日生
医・スポーツ医学学科
大阪府・常翔学園高
181cm/103kg/B型

【ニックネーム】ガチャ【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】コンタクトプレーで前進【チームでの役割】激しいコンタクトプレー

LO

久保 克斗
KUBO Katsuto

1998年11月7日生
医・スポーツ医学学科
徳島県・国学院大学栃木高
191cm/114kg/O型

【ニックネーム】かつと【性格】何事にも真面目に取り組み、最後までやりきる性格【プレーの特徴】安定したセットプレーと粘り強いブレイクダウンファイト【チームでの役割】目立たないところで体を張る

HO/LO

荒川 海斗
ARAKAWA Kaito

1998年12月31日生
教・教育文化学科
埼玉県・帝京八王子高
174cm/110kg/O型

【ニックネーム】あらちゃん、ざんくお【性格】明るく社交的【プレーの特徴】安定したセットプレーと粘り強いブレイクダウンファイト【チームでの役割】セットプレーを安定させる

WTB

木村 朋也
KIMURA Tomoya

1998年4月4日生
医・スポーツ医学学科
京都府・伏見工業高
174cm/77kg/O型

【ニックネーム】きむとも【性格】常に明るく笑顔【プレーの特徴】コンタクトプレー【チームでの役割】フィニッシャー

CTB/FB

岡村 晃司
OKAMURA Koji

1998年6月12日生
医・スポーツ医学学科
奈良県・御所実業高
171cm/85kg/A型

【ニックネーム】おかし【性格】明るくて、優しい【プレーの特徴】コンタクトプレー【チームでの役割】チャンスメーカー

SH

春野 日向
HARUNO Hyuga

1998年12月28日生
医・スポーツ医学学科
神奈川県・東京高
167cm/70kg/A型

【ニックネーム】ひゅうが【性格】誰にでも優しく、負けず嫌い【プレーの特徴】運動量と速い球出し【チームでの役割】的確な指示でチームの流れをつくる

FL

山口 莉輝
YAMAGUCHI Riki

1999年2月14日生
医・教育文化学科
長崎県・長崎北陽台高
180cm/108kg/O型

【ニックネーム】りき【性格】何事も真面目に最後までやりきる【プレーの特徴】アタック面では力強いキャリアー、ディフェンス面では低いタックル【チームでの役割】声を出しチームを元気づけ、盛り上げる

LO

野田 響
NODA Hibiki

1998年6月7日生
医・スポーツ医学学科
熊本県・荒尾高
187cm/118kg/B型

【ニックネーム】ひびき【性格】明るくてよく喋る。優しい【プレーの特徴】ボールキャリアー、1対1の強さ、力強いプレー【チームでの役割】勢いのある力強いボールキャリアーでディフェンスラインを突破する

HO

上片 風馬
UEKATA Fuma

1999年3月29日生
医・スポーツ医学学科
長崎県・長崎北陽台高
177cm/105kg/B型

【ニックネーム】ふうま【性格】グラウンド内では厳しく、外では優しい【プレーの特徴】フッカーとしてセットプレーの安定と前に出て倒すディフェンス【チームでの役割】フォワードを盛り上げる、身体を張り続ける

ポジション
役職

名前
NAME

生年月日
学号
出身地・出身高校
身長・体重・血液型

※学部については以下の通り
(医…医療技術学部、文…文学部、経…経済学部、教…教育学部、法…法学部)

【ニックネーム】
【性格】
【プレーの特徴】
【チームでの役割】

4th Grade

PLAYERS LIST
2020
Rugby
4年生

WTB/FB

杉永 将三
SUGINAGA Shoza

1998年7月18日生
医・スポーツ医学学科
長崎県・長崎南山高
176cm/83kg/A型

【ニックネーム】すぎ、しよーぞー【性格】よく笑う【プレーの特徴】キックカウンターで前が出る【チームでの役割】後ろからのコミュニケーションでバックスリーやフォワードをコントロールする

CTB/FB

尾崎 泰雅
OSAKI Taiga

1999年5月25日生
医・スポーツ医学学科
京都府・伏見工業高
183cm/95kg/AB型

【ニックネーム】たいが【性格】いつも明るく、場を盛り上げる【プレーの特徴】ステップで相手の裏に出てオフロード【チームでの役割】攻守共に前に出る激しいプレーをする

SO

奥村 翔
OKUMURA Kakeru

1998年6月10日生
医・スポーツ医学学科
京都府・伏見工業高
179cm/83kg/B型

【ニックネーム】かける【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】攻守共に前に出る【チームでの役割】正確な状況判断とゲームコントロール

FL

山田 悠馬
YAMADA Yuma

1998年5月22日生
経・経済学科
東京都・桐蔭学園高
171cm/90kg/AB型

【ニックネーム】ゆうま【性格】種やか【プレーの特徴】相手を引きつけ、味方を活かす【チームでの役割】外側から声を出し、状況を伝えチャンスを活かす

FL/No.8

金 隆生
KIM Ryung Seng

1998年5月22日生
医・スポーツ医学学科
大阪府・伏見工業高
180cm/102kg/AB型

【ニックネーム】りゅん【性格】ポジティブで負けず嫌い【プレーの特徴】コンタクトプレー【チームでの役割】誰よりもタフに動き続け、フォワードを引っ張る

HO/LO

加地 王虎
KAJI Kimitaka

1998年6月10日生
医・スポーツ医学学科
京都府・伏見工業高
178cm/104kg/O型

【ニックネーム】きみ【性格】人見知り【プレーの特徴】コンタクトプレー【チームでの役割】激しいコンタクトで少しでも前へ出る

PR

東浦 仁一朗
HIGASHIURA Jinichiro

1998年7月8日生
経・経済学科
奈良県・上宮太子高
183cm/122kg/A型

【ニックネーム】じん、ひがし【性格】温厚で思いやりがある【プレーの特徴】力強いゴール前アタック【チームでの役割】安定したセットプレー

PR

近藤 芽吹
KONDO Ibuki

1998年4月21日生
医・スポーツ医学学科
新潟県・新潟工業高
177cm/115kg/O型

【ニックネーム】ボク、いぶき【性格】明るく元気【プレーの特徴】接点の強さ【チームでの役割】セットプレーを安定させる

WTB/CTB/FB

平坂 海人
HIRASAKA Kaito

1999年1月20日生
医・スポーツ医学学科
宮城県・日向高
176cm/88kg/A型

【ニックネーム】かいと【性格】負けず嫌いで、ひとつのことに没頭しやすい【プレーの特徴】力強いランとフィジカルプレーが特徴【チームでの役割】ランプレーとタックルで試合の流れを変える

CTB

原 銀太郎
HARA Gintaro

1998年5月29日生
医・スポーツ医学学科
兵庫県・報徳学園高
172cm/83kg/B型

【ニックネーム】ぎん【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】タックルでチームに貢献【チームでの役割】アタックでもディフェンスでも体を張って前に出る

SO

北村 将大
KITAMURA Masahiro

1998年8月29日生
教・教育文化学科
兵庫県・報徳学園高
172cm/87kg/A型

【ニックネーム】まさ【性格】何事も最後まで取り組む【プレーの特徴】状況判断、ゲームコントロール【チームでの役割】チームの勝利に繋がるゲームマネジメント

No.8/FL

高橋 怜雅
TAKANASHI Ryouga

1998年5月5日生
医・スポーツ医学学科
岩手県・黒沢尻北高
177cm/95kg/B型

【ニックネーム】りょう【性格】基本的に静かでおとなしい【プレーの特徴】体を張り続ける【チームでの役割】声を出して盛り上げる

FL

沓澤 北斗
KUSUZAWA Hokuto

1999年3月23日生
医・スポーツ医学学科
東京都・帝京八王子高
169cm/86kg/O型

【ニックネーム】ほくと【性格】いつも明るく、前向きな性格【プレーの特徴】低いタックルとスピードに乗ったアタック【チームでの役割】ピンチを救うタックルやジャッカル

HO

李 承燮
LEE Seung Hyok

1999年1月27日生
医・スポーツ医学学科
兵庫県・大阪朝鮮高
179cm/105kg/B型

【ニックネーム】すんひょ【性格】ひとつの事に對して夢中になる性格【プレーの特徴】フロントローとして最前線に体を張り、セットプレーを安定させる【チームでの役割】セットプレーの安定

PR

安岡 大樹
YASUOKA Daiki

1998年8月7日生
経・経済学科
埼玉県・東谷高
173cm/100kg/A型

【ニックネーム】やっさん【性格】好奇心旺盛【プレーの特徴】ハードコンタクト【チームでの役割】スクラム、タックル

PR/HO

清水 岳
SHIMIZU Takaki

1998年11月22日生
医・スポーツ医学学科
大阪府・大阪桐蔭高
174cm/108kg/O型

【ニックネーム】たけ【性格】穏やかな性格、負けず嫌い【プレーの特徴】力強いボールキャリアーを、ラインを切る【チームでの役割】スクラムを押し、相手にプレッシャーを与える

WTB/FB

薬師寺 晃
YAKUSHIJI Koki

1998年11月16日生
医・スポーツ医学学科
大分県・大分豊鶴高
174cm/87kg/A型

【ニックネーム】やく【性格】几帳面【プレーの特徴】ランやステップで相手を抜く【チームでの役割】ランプレーで相手のディフェンスラインを切る

CTB

ニコラス マクラン
Nicholas McCurrin

1996年6月13日生
医・スポーツ医学学科
ニュージーランド・Hamilton Boys High School
189cm/96kg/O型

【ニックネーム】ニック【性格】シャイ【プレーの特徴】正確なパスと広い守備範囲【チームでの役割】広い視野で周りを活かす

SO

申 誠敏
SHIN Seong Min

1998年4月10日生
医・スポーツ医学学科
東京都・東京朝鮮高
170cm/96kg/A型

【ニックネーム】もんみん【性格】穏やかで優柔不断【プレーの特徴】正確なキックでエリアを取る【チームでの役割】相手を止めるディフェンスとエリアマネジメント

No.8

築山 駿也
TSUKIYAMA Shunya

1998年9月8日生
医・スポーツ医学学科
長崎県・長崎南山高
181cm/104kg/AB型

【ニックネーム】しゅんや【性格】没頭しやすい【プレーの特徴】ボールキャリアー【チームでの役割】ボールキャリアーの強さ

FL/No.8

古田 勇作
FURUTA Yusaku

1998年5月17日生
医・スポーツ医学学科
東京都・深谷高
180cm/107kg/B型

【ニックネーム】ゆうちゃん【性格】明るく、どんなことも責任を持ってやりきることができる【プレーの特徴】激しく、相手の勢いを断ち切るプレー【チームでの役割】相手の勢いを止めるタックル、安定したスクラム

LO/No.8

オトジョシア 輝恵
OTO Joshua Teruyoshi

1998年10月7日生
医・スポーツ医学学科
愛知県・八王子学園八王子高
191cm/113kg/O型

【ニックネーム】ジョシア【性格】ぶれない【プレーの特徴】体を活かしたボールキャリアー【チームでの役割】ボールを前に運ぶ

PR

渡邊 元太
WATANABE Genta

1999年2月26日生
経・経済学科
大分県・大分白幡高
181cm/113kg/A型

【ニックネーム】ナベ【性格】優しくおらかな性格【プレーの特徴】力強いコンタクトプレー、体重を活かした重いスクラム【チームでの役割】スクラムを最前列で押す

PR

田中 大介
TANAKA Daisuke

1998年11月16日生
医・スポーツ医学学科
宮城県・延岡聖堂高
173cm/113kg/A型

【ニックネーム】D、だいすけ【性格】温厚【プレーの特徴】力強いボールキャリアーをし、ラインを切る【チームでの役割】スクラムを押し、相手にプレッシャーを与える

CTB

金 裕平

KIM Yu Pyung
1999年8月11日生
医・スポーツ医療学科
東京都・東京朝鮮高
173cm/83kg/O型

【ニックネーム】ゆうへい【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】前に出るタックル【チームでの役割】痛いプレーをする



SH/FB

白國 亮大

SHIRAKUNI Ryosuke
2000年2月29日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・摂津高
165cm/73kg/AB型

【ニックネーム】シラ、りょうだい【性格】いつも元気【プレーの特徴】素早さとステップを活かしたランプレー【チームでの役割】ウイングとしてトライを取りきる



FL/LO/No.8

森田 雅之

MORITA Masayuki
1999年5月4日生
教・教育文化学科
神奈川県・湘南学園高
181cm/94kg/O型

【ニックネーム】まさ、マー坊【性格】気負わない【プレーの特徴】運動量と低いタックル【チームでの役割】タックルなどでメンタムを生む



HO/FL

大澤 陸大

OSAWA Rikuto
1999年8月10日生
教・教育文化学科
岩手県・東沢北高
169cm/98kg/A型

【ニックネーム】りくと【性格】意志が強い【プレーの特徴】低くて鋭いプレー【チームでの役割】目立たないところで身体を張る



分析

堀尾 英喜

HORIO Hideki
1999年2月5日生
医・スポーツ医療学科
東京都・帝京八王子高
172cm/86kg/A型

【ニックネーム】ほっぼ【性格】楽観的【いつも心掛けていること】弱みを見せない【チームでの役割】GPSで選手のコンディションとパフォーマンスの向上



主務

山地 健太

YAMAJI Keita
1999年3月17日生
医・経済学科
東京都・国学院大学栃木高
170cm/70kg/O型

【ニックネーム】やまじ、けんた【性格】活発【いつも心掛けていること】考えて動くこと【チームでの役割】チーム活動を円滑に進める



CTB

小柳 琢登

KOYANAGI Takuto
1999年12月7日生
医・スポーツ医療学科
佐賀県・佐賀工業高
187cm/105kg/O型

【ニックネーム】やなぎ、ぎー【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】どんなときでも相手ディフェンスラインを崩す【チームでの役割】強いコンタクトをしてゲインする



SH

藤原 大成

FUJIWARA Taisei
1999年7月17日生
医・スポーツ医療学科
千葉県・専修大学松戸高
163cm/90kg/B型

【ニックネーム】たいせー【性格】いつも笑顔で明るい【プレーの特徴】正確なパスと状況に応じた裏へのキック【チームでの役割】フォワードをコントロールさせて良いテンポでボールを供給する



FL

梁 潤学

YANG Yun Hak
2000年3月16日生
医・スポーツ医療学科
東京都・東京朝鮮高
175cm/90kg/B型

【ニックネーム】ゆなぎ【性格】とにかく明るい【プレーの特徴】スピードを活かしてトライにつなげる【チームでの役割】走ってトライにつなげる



HO

照内 寿明

TERUUCHI Toshiaki
1999年6月3日生
医・スポーツ医療学科
埼玉県・国学院大学栃木高
168cm/95kg/O型

【ニックネーム】てる【性格】好奇心旺盛【プレーの特徴】安定したスクラム、ボールキャリアー【チームでの役割】ボールキャリアーでチームを勢いづける



Position card for 堀尾 英喜 (HORIO Hideki) showing name, birth date, school, and role.

3rd Grade PLAYERS LIST 2020 Rugby 3年生

分析

安田 康介

YASUDA Kosuke
1998年7月2日生
法・法律学科
広島県・崇徳高
176cm/77kg/B型

【ニックネーム】やす、やっさん【性格】種やか【いつも心掛けていること】常に謙虚でひたむきに取り組む



学生コーチ

西山 幸佑

NISHIYAMA Kosuke
1998年10月1日生
医・スポーツ医療学科
愛知県・三好高
178cm/100kg/O型

【ニックネーム】ラルフ【性格】物静か【いつも心掛けていること】ポジティブ【チームでの役割】練習のサポート



CTB/WTB/FB

人見 太基

HITOMI Taiki
1999年12月6日生
医・スポーツ医療学科
京都府・伏見工業高
173cm/90kg/A型

【ニックネーム】たいちゃん【性格】明るくポジティブ【プレーの特徴】周りを見て判断する【チームでの役割】流れを変えるタックル



SO/FB

押川 敦治

OSHIKAWA Atsushi
1999年5月22日生
教・教育文化学科
大阪府・京都成章高
174cm/87kg/B型

【ニックネーム】おし【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】ギャップへの仕掛け【チームでの役割】ゲームメイク



No.8

リッチモンドンガマ

Richmond Tongatama
1996年7月6日生
医・スポーツ医療学科
ニュージーランド・Otauhu College
188cm/121kg/B型

【ニックネーム】リッチー【性格】優しい【プレーの特徴】強いボールキャリアー【チームでの役割】ゲインを切って勢いをつくる



LO/FL

大塚 碧生

OTSUKA Aoi
1999年8月1日生
医・スポーツ医療学科
京都府・光泉高
181cm/106kg/A型

【ニックネーム】あおい【性格】種やか【プレーの特徴】タックル【チームでの役割】タックルで身体を張る



PR

曹 光成

CHO Gwang Song
2000年3月30日生
医・スポーツ医療学科
和歌山県・大阪朝鮮高
175cm/105kg/O型

【ニックネーム】がんそん【性格】優しい【プレーの特徴】安定したセットプレー【チームでの役割】元気を与えられる



PR

伊藤 健人

ITO Kenji
1999年4月21日生
医・スポーツ医療学科
愛知県・中部大学春日丘高
181cm/117kg/O型

【ニックネーム】いとけん【性格】種やか【プレーの特徴】どんなときも勢いのあるアタック【チームでの役割】アタックの流れを止めない



MG

島山 実希

HATAYAMA Miki
1998年7月21日生
経・経営学科
東京都・国学院大学久我山高
160cm/AB型

【ニックネーム】実希、ミキティ【性格】楽観的【いつも心掛けていること】誰よりも汗をかくて全力で取り組む



学生コーチ

堀 真太郎

HORI Shintaro
1998年12月22日生
経・経済学科
新潟県・北越高
170cm/AB型

【ニックネーム】ほりしん【性格】明るく元気【いつも心掛けていること】周りをよく見る【チームでの役割】練習のマネジメント



CTB/FB

芳野 友

YOSHINO Yu
1999年8月5日生
教・教育文化学科
愛媛県・新田高
174cm/80kg/O型

【ニックネーム】ゆう【性格】人見知りだけど明るい【プレーの特徴】流れを変えられるタックル【チームでの役割】きついときにタックルで流れを変える



SO/CTB

金 諒

KIM Ryang
1999年8月10日生
医・スポーツ医療学科
兵庫県・大阪朝鮮高
185cm/95kg/A型

【ニックネーム】りやん【性格】陽気【プレーの特徴】勢いのあるキック【チームでの役割】しっかりとエリアマネジメントをする



No.8

中野 光基

NAKANO Koki
1999年11月10日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
180cm/105kg/AB型

【ニックネーム】こうき【性格】どんなときも冷静【プレーの特徴】力強いボールキャリアー【チームでの役割】アタックでのベネトレイト



LO

後藤 孝輔

GOTO Kosuke
1999年12月1日生
教・教育文化学科
千葉県・専修大学松戸高
174cm/106kg/A型

【ニックネーム】ごっつ、おっさん【性格】ポジティブ【プレーの特徴】常に攻撃的なスクラムを組む【チームでの役割】つらいときでも力強いボールキャリアー



PR/HO

泓 城蓮

FUCHI Joren
2000年11月1日生
教・教育文化学科
岐阜県・関商工高
180cm/112kg/A型

【ニックネーム】しょうれん【性格】種やか【プレーの特徴】スクラム【チームでの役割】スクラムの粘り強さ



PR

奥野 翔太

OKUNO Shota
2000年1月15日生
医・スポーツ医療学科
兵庫県・常翔学園高
177cm/114kg/O型

【ニックネーム】しょうた【性格】温厚だがラグビーでは闘志を出す【プレーの特徴】激しいボールキャリアー【チームでの役割】安定したセットプレーで良いボールを供給する



分析

塚原 勇斗

TSUKAHARA Yuto
1998年9月13日生
経・経済学科
千葉県・清真学園高
177cm/102kg/B型

【ニックネーム】つかちゃん【性格】せっかち【いつも心掛けていること】できるだけ効率よく最短で達成できるよう考える【チームでの役割】チームのために必要な情報を集めて共有する



FB/WTB/SO

小村 健太

KOMURA Keita
1999年12月20日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・Hamilton Boys High School
177cm/83kg/B型

【ニックネーム】こむけん【性格】明るく温厚【プレーの特徴】ランとオフロード【チームでの役割】自分でも前に出つつ、周りを活かす



SO/FB

志和池 豊馬

SHIWAKI Toma
1999年8月6日生
医・スポーツ医療学科
宮崎県・日向高
176cm/83kg/A型

【ニックネーム】しわち【性格】マイペース【プレーの特徴】正確なキック【チームでの役割】キッカー



No.8

村田 空海

MURATA Kukai
2000年2月9日生
医・スポーツ医療学科
東京都・京都成章高
177cm/95kg/B型

【ニックネーム】くう【性格】明るく元気で周りを明るくさせる【プレーの特徴】ボールを前に運ぶ【チームでの役割】FWとしてボールを前に運ぶ



LO

藤原 清孝

FUJIWARA Kiyotaka
1999年9月24日生
経・国際経済学科
岡山県・関西高
177cm/92kg/O型

【ニックネーム】きよ【性格】明るく元気で前向きに頑張る【プレーの特徴】アグレッシブに前へゲインする【チームでの役割】フォワードとしてキャリアで前進する



PR/HO

細木 康太郎

HOSOKI Kotaro
2000年1月28日生
医・スポーツ医療学科
新潟県・桐蔭学園高
178cm/115kg/O型

【ニックネーム】ほっつきー【性格】誰とでも仲良くなる【プレーの特徴】激しいコンタクトプレー【チームでの役割】激しいプレーでチームを鼓舞する



PR

河島 ミーシャ

KAWASHIMA Misha
1999年9月14日生
医・スポーツ医療学科
福岡県・京葉高
182cm/110kg/A型

【ニックネーム】ミーシャ【性格】誠実で、他人に対して思い遣りがある【プレーの特徴】勢いのあるボールキャリアー、安定したセットプレー【チームでの役割】力強いボールキャリアー、安定したスクラムを組める



FB/WTB

上代 遼輔

JODAI Ryoosuke
1999年6月13日生
教・教育文化学科
千葉県・専修大学松戸高
173cm/76kg/A型

【ニックネーム】じょうだい【性格】元気【プレーの特徴】ステップで相手を抜く【チームでの役割】トライを取る



SO/CTB

西川 虎哲

NISHIKAWA Kotetsu
1999年7月17日生
医・スポーツ医療学科
宮崎県・京都成章高
168cm/78kg/AB型

【ニックネーム】こてっちゃん【性格】マイペース【プレーの特徴】タックル【チームでの役割】流れを変えるタックル



SH/FB

北埜 稜磨

KITANO Ryoma
1999年11月8日生
教・教育文化学科
大阪府・常翔啓光学園高
172cm/65kg/B型

【ニックネーム】りょうま【性格】どんな時も明るい【プレーの特徴】テンポの良いパスさばき【チームでの役割】状況判断と速いテンポづくり



FL

上山 黎哉

UEYAMA Reiya
1999年9月28日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
174cm/96kg/O型

【ニックネーム】れいや【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】前に出るタックル【チームでの役割】前に出て激しいプレーをし続ける



PR

山本 溪太

YAMAMOTO Keita
1999年6月27日生
医・スポーツ医療学科
東京都・国学院大学久我山高
177cm/110kg/B型

【ニックネーム】やまちゃん【性格】種やかでフレンドリーな性格【プレーの特徴】激しいブレイクダウンでプレッシャーをかける【チームでの役割】常にセットプレーを安定させる



PR/HO

小林 恵太

KOBAYASHI Keita
1999年8月4日生
医・スポーツ医療学科
宮崎県・宮崎西高
174cm/108kg/O型

【ニックネーム】こば【性格】温厚【プレーの特徴】低いタックルで相手を止める【チームでの役割】セットプレーを安定させて勢いのあるプレーをする



SO/CTB

湯浅 宏太

YUASA Kota
2000年6月6日生
医・スポーツ医療学科
京都府・桐蔭学園高
170cm/76kg/AB型

【ニックネーム】こうた【性格】温厚で人懐っこい【プレーの特徴】スペースを見つけてそこに運ぶ【チームでの役割】何回もゲインしてチームを鼓舞する



SH

片岡 祐二

KATAOKA Yui
2000年12月17日生
医・スポーツ医療学科
京都府・京都成章高
160cm/68kg/A型

【ニックネーム】チョナン【性格】前向きで我慢強い【プレーの特徴】正確なパスさばき【チームでの役割】テンポを作り出し勢いのあるアタックをする



LO/FL

山川 一瑛

YAMAKAWA Issa
2000年7月5日生
医・スポーツ医療学科
京都府・常翔学園高
190cm/96kg/A型

【ニックネーム】いっさ【性格】明るくて元気【プレーの特徴】ハンドオフで相手を抜く、オフロードパスでチャンスをつくる【チームでの役割】外から状況判断をしてチャンスをものにする



HO

福井 翔

FKUJI Sho
2000年5月6日生
医・スポーツ医療学科
京都府・東福岡高
171cm/96kg/B型

【ニックネーム】ショウ【性格】明るい【プレーの特徴】泥臭いプレー【チームでの役割】激しくドリジョン



MG

マネージャー

掛川 雪乃

KAKEGAWA Yukino
1999年5月20日生
経・経営学科
石川県・文化学園大学杉並高
166cm/AB型

【ニックネーム】ゆっき、ゆきの【性格】一喜一憂【いつも心掛けていること】臨機応変に行動し、正確に仕事をする



FB

杉原 駿

SHIHARA Kakeru
1999年12月15日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
171cm/75kg/AB型

【ニックネーム】かける【性格】几帳面【プレーの特徴】ランプレー【チームでの役割】スピードのあるアタック



CTB

菅原 海人

SUGAHARA Kaito
2000年8月21日生
医・スポーツ医療学科
京都府・京都工芸高
171cm/88kg/B型

【ニックネーム】すが【性格】前向き【プレーの特徴】相手に負けずに前へ出る【チームでの役割】タックルでチームを勢いづける



SH

紫垣 幸之介

SHIGAKI Konosuke
2000年12月13日生
医・スポーツ医療学科
熊本県・信志高
166cm/76kg/A型

【ニックネーム】こうちゃん【性格】社交的【プレーの特徴】どの位置からでもパスをあげられる【チームでの役割】テンポを上げてチームを勢いづける

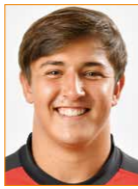


FL/No.8

鎌田 イリヤ

KAMADA Iriya
2000年8月13日生
医・スポーツ医療学科
徳島県・御所実業高
175cm/91kg/A型

【ニックネーム】いりちゃん【性格】何事にも負けず嫌い【プレーの特徴】タックルが激しい【チームでの役割】タックルで勢いづける



HO

屋部 謙仁

YABU Kento
2001年3月3日生
医・スポーツ医療学科
沖縄県・名護高
175cm/98kg/O型

【ニックネーム】やぶけん【性格】慣れるまで無口【プレーの特徴】アタックとタックル【チームでの役割】フォワードとバックスをつなぐパス



ポジション 役職 名前 NAME 生年月日 学科 出身校・出身高校 身長・体重・血液型 ※学部については以下の通り (医…医療技術学部、文…文学部、経…経済学部、教…教育学部、法…法学部) 【ニックネーム】 【性格】 【プレーの特徴】 【チームでの役割】

2nd Grade PLAYERS LIST 2020 Rugby 2年生

MG

マネージャー

島袋 うらら

SHIMABUKURO Urara
1999年6月11日生
医・スポーツ医療学科
沖縄県・普天間高
157cm/O型

【ニックネーム】うら、うらちゃん【性格】マイペースで素直【いつも心掛けていること】周りに左右されず自分の考えを常に持つ、いつでも笑顔でいる



学生レフリー

石井 修真

ISHII Shuma
1999年5月12日生
医・スポーツ医療学科
東京都・桐蔭学園高
168cm/76kg/O型

【ニックネーム】しゅま【性格】静かなようで明るい【いつも心掛けていること】部屋の整理【チームでの役割】GPSなどの仕事を担当



CTB

松山 千大

MATSUYAMA Chihiro
2001年1月5日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
173cm/88kg/O型

【ニックネーム】ちひろ【性格】明るい【プレーの特徴】コンタクトプレー【チームでの役割】体を張る



SH/WTB

田中 怜

TANAKA Rei
2000年12月9日生
医・スポーツ医療学科
長崎県・長崎北陽台高
173cm/66kg/A型

【ニックネーム】レイ【性格】どんなことにも負けず嫌い【プレーの特徴】ステップで相手を抜く【チームでの役割】ボールをもらったらゲインしてチームを勢いづける



FL

金 憲輝

KIM Hiron
2000年11月20日生
経・国際経済学科
東京都・東京朝鮮高
173cm/87kg/AB型

【ニックネーム】ホニ【性格】明るく優しい【プレーの特徴】体を張るプレー【チームでの役割】コルでみんなを引っ張る



HO

山添 圭祐

YAMAZOE Keisuke
2000年7月1日生
経・教育文化学科
長崎県・長崎北陽台高
177cm/104kg/AB型

【ニックネーム】ぞえ、やまぞえ、けいすけ【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】激しいボールキャリアー【チームでの役割】ゲインラインを突破する



PR

高井 翔太

TAKAI Shota
2000年5月24日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・常翔学園高
171cm/112kg/O型

【ニックネーム】翔太【性格】活発的【プレーの特徴】勢いのあるボールキャリアー、スクラム【チームでの役割】ボールキャリアーでみんなを鼓舞する



PR

上路 慶人

UEJI Keito
2000年4月15日生
経・経営学科
滋賀県・光泉高
170cm/96kg/A型

【ニックネーム】うえじ【性格】穏やかで優しい【プレーの特徴】アタックで相手をずらして必ずゲインする【チームでの役割】声を出して雰囲気盛り上げる



MG

マネージャー

星野 早紀

HOSHINO Saki
2000年2月19日生
経・経営学科
埼玉県・昌平高
166cm/O型

【ニックネーム】さき、さきちゃん【性格】明るくポジティブ【いつも心掛けていること】恩を忘れず、どんなときも笑顔で【チームでの役割】選手とチームのサポート



分析

増田 賢司

MASUDA Kenji
1999年4月6日生
経・経営学科
静岡県・静岡聖光学院高
166cm/66kg/O型

【ニックネーム】ますけん、けんじ【性格】楽観的【プレーの特徴】計画【チームでの役割】コーチや選手が必要な情報を早く正確に共有する



WTB

岡崎 俊星

OKAZAKI Shunsei
2000年10月30日生
医・スポーツ医療学科
千葉県・船橋埼玉高
180cm/80kg/B型

【ニックネーム】おか、ザキ【性格】大人数でいるのも良い【比較】一人が好き【プレーの特徴】足に自信があるのでスピードを活かす【チームでの役割】トライを取る



SH

谷中 樹平

TANAKA Kipppei
2000年6月4日生
経・教育文化学科
兵庫県・御所実業高
177cm/76kg/O型

【ニックネーム】きゅちゃん、べい【性格】コミュニケーションを取るのが得意、誰とも仲良く【プレーの特徴】左足のキック一発で倒すタックル【チームでの役割】クオリティボールを供給する、良いタックルで流れをつくる



FL/No.8

ミティリツツカガガドラ

Mitell Tsinakavadra
1999年1月20日生
医・スポーツ医療学科
フジエ-St.Josephs College/Hunters Hill
180cm/108kg/AB型

【ニックネーム】ミティ【性格】明るい【プレーの特徴】ダイナミックなラン【チームでの役割】流れを変えるインパクト



LO/No.8

江里口 真弘

ERIGUCHI Masahiro
2000年5月25日生
医・スポーツ医療学科
福岡県・大分東明高
184cm/103kg/A型

【ニックネーム】えり、まさ【性格】明るく元気【プレーの特徴】力強いボールキャリアー【チームでの役割】力強いボールキャリアーでアタックの勢いをつくる



PR

崔 暢賢

CHOI Chang Hyun
2000年4月25日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・京都工芸高
179cm/124kg/AB型

【ニックネーム】チャンヒョン【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】力強いセットプレーとブレイクダウンでチームに貢献する【チームでの役割】セットプレーを安定させる



PR

金森 栄人

KANAMORI Eito
2001年1月25日生
医・スポーツ医療学科
秋田県・秋田工業高
175cm/124kg/B型

【ニックネーム】ましゅ【性格】何事も真面目に取り組むことができ、オンとオフが切り替えられる【プレーの特徴】コンタクトプレーとスクラムでチームを勢いづける【チームでの役割】チャンスや、きつときの声掛けとコンタクトプレーで勢いづける



WTB/FL

當眞 慶

TOMA Kei
2000年8月7日生
医・スポーツ医療学科
沖縄県・流通経済大学付属柏高
180cm/88kg/O型

【ニックネーム】けい【性格】人見知りだが、話せば誰とも仲良くなる【プレーの特徴】コンタクトプレーで必ず前が出る【チームでの役割】コンタクトプレーで必ず前に出る



SH

前田 翔哉

MAEDA Shoya
2001年3月27日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・常翔学園高
163cm/60kg/B型

【ニックネーム】しょうや【性格】明るい、負けず嫌い【プレーの特徴】自分がオプションになれる【チームでの役割】クオリティボールを供給する



No.8

岡本 流星

OKAMOTO Ryusei
2001年2月16日生
医・スポーツ医療学科
滋賀県・八幡工業高
176cm/91kg/O型

【ニックネーム】りゅうせい【性格】どんなことに対しても負けず嫌い【プレーの特徴】運動量の豊富さとしつこいタックル【チームでの役割】タックルと運動量でチームをサポート



LO

菅井 一樹

SUGAI Kazuki
2000年9月25日生
経・経営学科
千葉県・八千代松陰高
187cm/104kg/A型

【ニックネーム】官房長官【性格】明るく優しい【プレーの特徴】コンタクトプレーで必ず前が出る【チームでの役割】前に出てチームを勢いづける



PR

長谷川 翔舞

HASEGAWA Shoma
2000年8月2日生
医・スポーツ医療学科
京都府・京都工芸高
184cm/113kg/A型

【ニックネーム】はせしょう【性格】とにかく明るく、元気がある【プレーの特徴】コンタクトプレー、ボールキャリアー【チームでの役割】前に出続ける、エネルギーを出す



PR/LO

康 勇樹

KANO Young Su
2000年12月4日生
医・スポーツ医療学科
東京都・東京朝鮮高
187cm/116kg/A型

【ニックネーム】カン【性格】明るくて笑顔【プレーの特徴】モールなどで相手を引き、しっかりと前進させる【チームでの役割】前に行くことで味方を勢いづける



WTB/FB

南 成亮

NAM Sung Ryang
2000年7月11日生
経・経済学科
東京都・東京朝鮮高
172cm/77kg/A型

【ニックネーム】みなみ【性格】明るい【プレーの特徴】ズラしてしっかりゲインする【チームでの役割】得点してチームを勢いづける



SO

高本 幹也

TAKAMOTO Mikiya
2001年3月15日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
171cm/83kg/B型

【ニックネーム】みきや【性格】自由奔放【プレーの特徴】状況判断【チームでの役割】良い判断でチームを導く



SH

岡本 泰斉

OKAMOTO Taisai
2001年1月30日生
医・スポーツ医療学科
愛知県・中部大学春日丘高
173cm/73kg/O型

【ニックネーム】おかもん【性格】何事にもプラス思考【プレーの特徴】スピードのあるランと激しいタックル【チームでの役割】フォワードをコントロールする、速いテンポでアタックの流れをつくる



LO

アレクサンダー・マクロービー

Alexander McRobbie
2000年2月14日生
医・スポーツ医療学科
ニュージーランド・St.Keritigern College
197cm/107kg/B型

【ニックネーム】アレックス【性格】クール【プレーの特徴】ハードワーク【チームでの役割】長身を活かしたラインアウト



HO/No.8

中谷 基希

NAKAYA Motoki
2001年3月28日生
医・スポーツ医療学科
富山県・高岡第一高
174cm/100kg/O型

【ニックネーム】もとき【性格】常に明るく、笑顔【プレーの特徴】フットワークを活かして裏に出る【チームでの役割】フットワークで前に出て、勢いをつくる



PR

小松 桃斗

KOMATSU Momoto
2000年9月17日生
医・スポーツ医療学科
宮崎県・高鍋高
177cm/123kg/B型

【ニックネーム】ももと【性格】明るい、お調子者、人見知りしない【プレーの特徴】力強いプレー【チームでの役割】スクラム



CTB/WTB/FB

高本 とむ

TAKAMOTO Tomu

2001年10月10日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・東福岡高
182cm/86kg/O型

【ニックネーム】とむ【性格】明るい【プレーの特徴】走る【チームでの役割】トライを取る



SO/CTB

澤井 育実

SAWAI Kumi

2001年4月14日生
医・スポーツ医療学科
京都府・京都工学院高
180cm/87kg/A型

【ニックネーム】いくみ【性格】社交的【プレーの特徴】パス・ラインブレイク【チームでの役割】ラインブレイク



FL/NO.8

崔 然武

CHOI Yeon Mu

2001年5月12日生
経・経営学科
東京都・東京朝鮮高
177cm/93kg/O型

【ニックネーム】よんむ【性格】明るい【プレーの特徴】接点【チームでの役割】タックル



LO

岡 大翔

OKA Hiroto

2002年2月5日生
医・スポーツ医療学科
石川県・京都成章高
190cm/105kg/B型

【ニックネーム】おか【性格】穏やか【プレーの特徴】力強いプレー【チームでの役割】ラック周辺で体を張ること



FB/WTB

二村 堯司

FUTAMURA Karji

2001年1月14日生
医・スポーツ医療学科
京都府・京都成章高
180cm/87kg/B型

【ニックネーム】かんじ【性格】明るく元気【プレーの特徴】ラン【チームでの役割】チャンスメイク



WTB/SO/FB

長谷川 毅

HASEGAWA Tsuyoshi

2000年9月5日生
経・経営学科
福岡県・筑業丘高
175cm/87kg/AB型

【ニックネーム】つよぼん【性格】マイペース【プレーの特徴】半ずれをつくり、瞬間のスピードでゲインを切ったりアシストする【チームでの役割】少ないチャンスで少しでもゲインを切る



WTB

志氣 陸王

SHIKI Rikuo

2001年8月29日生
医・スポーツ医療学科
福岡県・東福岡高
171cm/80kg/O型

【ニックネーム】とむ【性格】優しい【プレーの特徴】ラン【チームでの役割】トライを取る



SO/FB

中尾 勇太

NAKAO Yuta

2001年12月15日生
医・スポーツ医療学科
熊本県・熊本西高
178cm/90kg/A型

【ニックネーム】ゆうた【性格】人見知り【プレーの特徴】ロングキック【チームでの役割】ロングキック



FL/NO.8

延原 秀飛

NOBUHARA Shuto

2001年12月6日生
医・スポーツ医療学科
岡山県・京都成章高
182cm/97kg/A型

【ニックネーム】のぶ【性格】よく笑う【プレーの特徴】タックル【チームでの役割】タックル、ゲイン



LO/FL/NO.8

シミオネシュミット

Simeone Schmidt

2001年4月15日生
医・スポーツ医療学科
オーストラリア・Saint Ignatius's College Riverview
195cm/113kg/O型

【ニックネーム】ジュニア【性格】人懐っこい【プレーの特徴】オフロード、ラインアウト【チームでの役割】ラインアウト



ポジション

役職

名前

NAME

生年月日

学科

出身地・出身高校

身長/体重/血液型

※学部については以下の通り

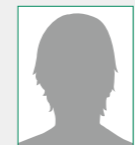
(医…医療技術学部、文…文学部、経…経済学部、教…教育学部、法…法学部)

【ニックネーム】

【性格】

【プレーの特徴】

【チームでの役割】



分析

中根 誌音

NAKANE Shion

2000年7月10日生
文・心理学科
愛知県・静岡聖光学院高
175cm/84kg/B型

【ニックネーム】シオン【性格】常に明るい【いつも心掛けてること】速くきれいに正確に仕事をする【チームでの役割】早く動画をつくって届ける



FB/WTB

大藪 洸太

OYABU Kota

2001年3月5日生
医・スポーツ医療学科
愛知県・中部大学春日丘高
181cm/88kg/O型

【ニックネーム】ヤブ【性格】誰とでも仲良くなれる【プレーの特徴】スピードあるプレーでの突破【チームでの役割】スピードあるプレーでチームに勢いを与える



WTB

埜村 正章

NOMURA Masataka

2001年10月12日生
医・スポーツ医療学科
奈良県・常翔学園高
169cm/78kg/B型

【ニックネーム】のむ【性格】真面目【プレーの特徴】ラン【チームでの役割】トライを取る



SO/FB

山口 泰輝

YAMAGUCHI Taiki

2001年11月17日生
医・スポーツ医療学科
長崎県・長崎北陽台高
177cm/92kg/O型

【ニックネーム】たいき【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】倒れない【チームでの役割】冷静な判断、ラインブレイク



SH

金 成泰

KIM Seongtae

2001年7月21日生
経・経営学科
千葉県・東京朝鮮高
170cm/73kg/B型

【ニックネーム】そんて【性格】明るい【プレーの特徴】テンポを作る【チームでの役割】味方を出す



LO

藤井 慎太郎

FUJII Shintaro

2001年9月19日生
経・経営学科
兵庫県・日本航空石川高
185cm/100kg/AB型

【ニックネーム】しんちゃん【性格】フレンドリー【プレーの特徴】スピードアタック【チームでの役割】ゲインライン突破



PR/HO

津村 大志

TSUMURA Taishi

2001年4月30日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・御所実業高
172cm/104kg/A型

【ニックネーム】たいし【性格】衝動買いの癖有り【プレーの特徴】むしゃら【チームでの役割】周りを鼓舞する



PR

上杉 太郎

UESUGI Taro

2001年12月30日生
医・スポーツ医療学科
熊本県・熊本西高
176cm/113kg/B型

【ニックネーム】たろう【性格】人見知り【プレーの特徴】スクラム【チームでの役割】スクラム



WTB/FB

辺 純鍾

PION Sun Jong

2001年9月12日生
医・スポーツ医療学科
東京都・東京朝鮮高
180cm/82kg/A型

【ニックネーム】ピョン【性格】明るい【プレーの特徴】ラン【チームでの役割】トライを取る



SO/CTB

山地 拓真

YAMAJI Takuma

2002年8月13日生
医・スポーツ医療学科
東京都・石神井高
175cm/80kg/A型

【ニックネーム】タクマ、ヤマチ【性格】人見知り【プレーの特徴】正確なパスとキック【チームでの役割】テンポの良いアタック



SH

鈴木 大賀

SUZUKI Taiga

2002年3月26日生
医・教育文化学科
埼玉県・流通経済大学付属柏高
175cm/87kg/O型

【ニックネーム】たいが【性格】真面目【プレーの特徴】パス捌き【チームでの役割】正確なパス捌きをすること



LO/FL/NO.8

尹 礼温

YOUN Rye On

2002年6月30日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪朝鮮高
184cm/100kg/O型

【ニックネーム】レオン【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】コンタクト【チームでの役割】突破、ボールの再獲得



PR

西野 拓真

NISHINO Takuma

2001年11月19日生
医・スポーツ医療学科
京都府・京都成章高
186cm/123kg/A型

【ニックネーム】たくま【性格】人見知り【プレーの特徴】パス【チームでの役割】スクラムを組む



PR

黒岩 優

KUROIWA Yu

2001年5月11日生
医・スポーツ医療学科
宮崎県・高鍋高
179cm/109kg/A型

【ニックネーム】ゆう【性格】優しい【プレーの特徴】力強いプレー【チームでの役割】力強いプレー



CTB

池上 玲央

IKEGAMI Ryo

2002年2月14日生
医・スポーツ医療学科
福岡県・筑紫高
172cm/81kg/B型

【ニックネーム】れお【性格】温厚【プレーの特徴】ラインブレイク【チームでの役割】ゲイン



SO

井上 陽公

INOUE Hitaka

2001年10月27日生
経・経営学科
京都府・京都工学院高
174cm/78kg/A型

【ニックネーム】ひたか【性格】優しい【プレーの特徴】パス【チームでの役割】いいパスを送る



FL/NO.8

ダンジャロアスイ

D'anjahio Ahsui

2002年3月21日生
医・スポーツ医療学科
ニュージーランド・Aorere College
190cm/107kg/O型

【ニックネーム】ディー【性格】人懐っこい【プレーの特徴】アタック【チームでの役割】ペネトレイト



SO/CTB

戒田 慶都

KAIDA Keito

2001年4月22日生
医・スポーツ医療学科
愛媛県・新田高
178cm/86kg/B型

【ニックネーム】けいと【性格】優しい【プレーの特徴】周りを見たプレーができる【チームでの役割】ゲインする



FL/NO.8

奥井 章仁

OKUI Akito

2001年9月17日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
177cm/103kg/A型

【ニックネーム】あきと【性格】恥ずかしがり屋【プレーの特徴】コンタクト【チームでの役割】勢いをつける



HO/PR

江良 颯

ERA Hayate

2001年9月18日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
171cm/106kg/A型

【ニックネーム】ハヤテ【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】接点、スクラム【チームでの役割】前に出て勢いをつける



PR

新里 秀斗

SHINZATO Shuto

2001年10月15日生
医・スポーツ医療学科
東京都・佐賀工業高
177cm/111kg/B型

【ニックネーム】ザト【性格】優しい【プレーの特徴】ゲインすること【チームでの役割】ブレイクダウンで体を張ること



HO

佐藤 颯亮

SATO Sosuke

2001年11月7日生
医・スポーツ医療学科
千葉県・川越東高
177cm/98kg/B型

【ニックネーム】そうすけ【性格】真面目【プレーの特徴】アタック【チームでの役割】アタック



PR

田雑 瞬

TAZO Shun

2001年9月16日生
医・スポーツ医療学科
佐賀県・佐賀工業高
183cm/120kg/B型

【ニックネーム】しゅん、たぞー【性格】明るい【プレーの特徴】ブレイクダウン【チームでの役割】ゲインをきる



帝京大学ラグビー部OBが所属する主な社会人チーム

社会人チームで活躍する多くのOBたち。プレイヤーとしてはもちろん、指導者としても、高い評価をいただいております。

- トップリーグ**
 - NECグリーンロケッツ
 - 大和田立 (FL, 13年度卒)
 - 亀井亮依 (FL, 16年度卒・主将)
 - 金子良祐 (CTB, 16年度卒)
 - 飯山竜太 (WTB, 16年度卒)
 - 富真球 (PR, 18年度卒)
 - 吉川浩貴 (SH, 18年度卒)
 - 本山尊 (LO, 19年度卒)
 - NTTコミュニケーションズシャイニングアークス
 - 金嶺志 (LO, 16年度卒)
 - 平井将太郎 (PR, 17年度卒)
 - 濱田智香 (総括, 17年度卒)
 - 本郷泰司 (CTB, 19年度卒)
 - NTTコムレッドハリケーンズ
 - 金廉 (HO, 17年度卒)
 - 藤田達成 (LO, 18年度卒)
- トップイーストリーグDiv.1**
 - セコムラガッツ
 - 山賀敏之 (副部長/FWコーチ, 96年度卒)
 - 木下真之 (チームマネージャー, 08年度卒)
 - 高野悠斗 (PR, 15年度卒)
 - 藤原聡太 (LO, 16年度卒)
 - 藤井樹 (LO, 17年度卒)
 - 水谷健人 (LO, 19年度卒)
 - 東洋ガス
 - 野田潤典 (CTB, 13年度卒)
 - 木崎賢 (WTB/FB, 14年度卒)
 - 小川一真 (PR/HO, 15年度卒)
 - 上原亮 (FL/No.8, 16年度卒)
 - 矢澤寛 (SO, 18年度卒)
 - 日立製作所サンネクス
 - 辻井健太 (PR, 11年度卒)
 - 牧田旦 (CTB, 13年度卒)
 - 濱野大輔 (CTB, 15年度卒)
 - 大西将史 (HO, 16年度卒)
 - 西和磨 (PR, 17年度卒)
 - ジョセファ・ロガヴァツ (LO, 19年度卒)
 - BIG BLUES
 - 山下弘 (コーチ, 00年度卒)
 - 伊藤拓巳 (WTB, 11年度卒)
 - 明治安田生命ホーリーズ
 - 菅原貴広 (LO, 10年度卒)
 - ヤクルトレビンス
 - 岡崎拓人 (SH, 16年度卒)
 - 小川正志 (LO, 17年度卒)
 - 横河武蔵野アトラスターズ
 - 鎌盛俊介 (PR兼任コーチ, 05年度卒)
 - 高田和輝 (PR, 13年度卒)
 - 大黒田健人 (CTB, 13年度卒)
 - 高橋大輔 (FB, 14年度卒)
 - 松下修士 (CTB, 15年度卒)
- トップイーストDiv.2**
 - 大塚刷毛製造
 - 大久保裕磨 (FL, 08年度卒)
 - 山口竜平 (SH, 10年度卒)
 - 佐伯部哉 (PR, 16年度卒)
 - 久保佑太 (No.8, 17年度卒)
 - 保坂純平 (CTB, 17年度卒)
 - 安藤佑馬 (WTB/CTB, 18年度卒)
 - 前田恵輔 (PR, 11年度卒)
 - 藤崎健太 (LO, 11年度卒)
 - 松永浩平 (FL, 12年度卒)
 - 荒井基雄 (CTB, 12年度卒)
 - 河口駿 (No.8, 14年度卒)
 - 塚本奨平 (SH, 14年度卒)
 - 大木寿之 (PR, 15年度卒)
 - 岩永健太郎 (HO, 17年度卒)
 - JAL WINGS
 - 居原裕一郎 (PR, 02年度卒)
 - 中山剛介 (PR/LO, 08年度卒)
 - 本多敬佑 (FL, 08年度卒)
 - ライオンファンクス
 - 安田航 (ヘッドコーチ, 14年度卒)
- トップウェストAリーグ**
 - 大阪府警察
 - 飛雄也 (SO, 03年度卒)
 - 大森拓雄 (FL, 05年度卒・主将)
 - 重田航佑 (SH, 10年度卒)
 - 清水良平 (LO, 12年度卒)
 - 川満大二朗 (PR, 13年度卒)
 - 高橋裕貴 (WTB, 16年度卒)
 - 半田晃大 (PR, 18年度卒)
 - JR西日本レイラーズ
 - 藤原正雄 (監督, 01年度卒・主将)
 - 濱田部輝 (WTB, 16年度卒)
 - 北林賢悟 (SH, 18年度卒)
 - 中部電力
 - 川久保龍太郎 (FB, 13年度卒)
 - 飯部浩 (HO, 14年度卒)
 - 村瀬謙介 (SH/SO, 16年度卒)
 - 長船善雅 (FL/No.8, 17年度卒)
 - 鬼木秀一 (FB/CTB, 18年度卒)
 - 長野成貴 (SO/CTB, 19年度卒)
 - 豊田通商ブルーウィング
 - 藤田敏也 (No.8, 15年度卒)
 - 犬飼進吾 (SO, 15年度卒)
 - 大島寛之 (SO, 16年度卒)
 - 依藤尚之介 (PR, 17年度卒)
 - 和崎慶一 (FL, 18年度卒)
 - 三菱自動車京都レッドエボリューションズ
 - 牧内豪 (FB, 19年度卒)
- トップイーストリーグ**
 - 新日鉄住金八幡
 - 橋本大輔 (HO, 14年度卒)
 - 宮城陸人 (LO, 14年度卒)
 - 徳井琢真 (FL, 15年度卒)
 - 長野一貴 (No.8, 16年度卒)
 - JR九州サンダース
 - 船津光 (FB/CTB, 09年度卒)
 - 小幡大彰 (PR/HO, 10年度卒)
 - 橋口功 (CTB, 11年度卒)
 - 亀元貴地 (HO, 12年度卒)
 - 徳富大樹 (CTB/WTB/FB, 12年度卒)
 - 前原巧 (CTB, 14年度卒)
 - 酒井大厚 (CTB, 15年度卒)
 - 宮崎詠基 (WTB, 15年度卒)
 - 野口修平 (No.8, 17年度卒)
 - 元田翔太 (WTB/FB, 17年度卒)
 - 原口遼雅 (CTB, 18年度卒)
 - 長谷川耀 (PR/HO, 19年度卒)
 - 吉本淳之介 (CTB, 19年度卒)
 - 中国電力レッドレグリオンス
 - 岩戸博和 (BKコーチ, 04年度卒)
 - 庄島哲倫 (LO, 06年度卒)
 - 坪井秀樹 (PR, 10年度卒)
 - 黒川勝平 (WTB, 10年度卒)
 - 前田恵輔 (PR, 11年度卒)
 - 藤崎健太 (LO, 11年度卒)
 - 松永浩平 (FL, 12年度卒)
 - 荒井基雄 (CTB, 12年度卒)
 - 河口駿 (No.8, 14年度卒)
 - 塚本奨平 (SH, 14年度卒)
 - 大木寿之 (PR, 15年度卒)
 - 岩永健太郎 (HO, 17年度卒)
 - 三菱重工長崎
 - 山崎大星 (CTB, 16年度卒)
- トッパーストリーグ**
 - 日野自動車レッドドルフィンズ
 - 藤田哲吾 (FL, 12年度卒)
 - 松井佑太 (CTB, 13年度卒)
 - 小野貴久 (HO, 15年度卒)
 - 園木邦弥 (CTB, 16年度卒)
 - Honda HEAT
 - 小西大輔 (主務, 05年度卒)
 - 朴成基 (SO, 14年度卒)
 - 飯部航介 (FL, 15年度卒)
 - 伊藤秋祥 (SH, 15年度卒)
 - 吳味和昌 (PR, 16年度卒)
 - 古田凌 (No.8, 17年度卒)
 - 吳季依典 (HO, 18年度卒)
 - 三菱重工相模原ダイナボアーズ
 - 成那徳 (PR, 05年度卒)
 - 安江祥光 (HO, 06年度卒)
 - 竹井勝彦 (分析, 13年度卒)
 - 李城謙 (PR, 17年度卒)
 - 京信サイクスブルース
 - 猿渡知 (サブマネージャー, 07年度卒)
 - 寺田桂太 (LO, 17年度卒)
 - ヤマハ発動機ジュビロ
 - 田井中亮範 (統括マネージャー, 99年度卒)
 - 串田義和 (人事総務チームリーダー, 02年度卒)
 - 矢富洋則 (WTB, 17年度卒)
 - 岡本慎太郎 (PR, 18年度卒)
 - 田上稔 (SH, 18年度卒)
 - リコーブラックラムズ
 - 辻井健太 (PR, 11年度卒)
 - 牧田旦 (CTB, 13年度卒)
 - 濱野大輔 (CTB, 15年度卒)
 - 大西将史 (HO, 16年度卒)
 - 西和磨 (PR, 17年度卒)
 - ジョセファ・ロガヴァツ (LO, 19年度卒)
 - 九州電力キューデンヴォルテクス
 - 磯田泰成 (WTB, 14年度卒)
 - 徳永一斗 (PR, 15年度卒)
 - 木付丈博 (HO, 16年度卒)
 - 近鉄ライナーズ
 - 前田龍佑 (PR, 11年度卒)
 - 南藤辰馬 (WTB/FB, 12年度卒)
 - 竹田宜純 (FB, 13年度卒)
 - 菅原貴人 (LO, 18年度卒)
 - 栗田工業ウォーカーガッシュ
 - 出淵賢史 (PR, 12年度卒)
 - 太田光一 (CTB, 12年度卒)
 - 平野和飛人 (LO, 13年度卒)
 - 前田篤志 (HO, 14年度卒)
 - 吉田杏 (No.8, 17年度卒)
 - 岡田優輝 (CTB, 17年度卒)
 - 浅岡俊亮 (PR, 18年度卒)
 - 秋山大地 (LO, 18年度卒・主将)
 - コカ・コーラレッドスパークス
 - 猿渡康雄 (PR, 12年度卒)
 - 木下修一 (LO, 12年度卒)
 - 渡辺輝 (リクルート, 12年度卒)
 - 成島直人 (LO, 13年度卒)
 - 山崎雄希 (SO, 14年度卒)
 - マルシュー・イラウア (FL, 14年度卒)
 - 石垣航平 (CTB, 15年度卒)
 - 鎌田健太郎 (FB, 16年度卒)
 - 津岡翔太郎 (WTB, 17年度卒)
 - 長谷川寛太 (PR, 18年度卒)
 - 清水建設ブルーシャークス
 - 高志伸 (FB, 02年度卒)

プライベートルーム

プライベートルームは、上級生と下級生が同じ部屋で生活しながら、信頼関係を築いていきます。部屋ごとにこだわりが見え隠れするのもおもしろい!



旅行が趣味の選手が集めた旅行券コレクション!

食堂

バランスの良い食事を、しっかりとるのも重要。上級生が炊事やトレーニングの片づけを担当し、下級生から順番に食事をとっていきます。席は自由で、食事中も各テーブルで笑い声が絶えません!



Staff Message

一人ひとりに寄りそった食育

私たち管理栄養士の仕事は、「食事」を通じた選手のサポート。一人ひとりの選手がいつ、何を、どのくらい食べるのかをプランニングし、実際に食べるものの準備、手配などをします。大学4年間のみで終わるのではなく、卒業後も自分で栄養管理ができるように指導しています。また、練習や試合の場に帯同し、何かあればその場で話を聞き、小さな変化も見逃さないよう心がけています。



POINT

食堂では管理栄養士の藤井瑞恵先生と堀内麻央先生が、体組成や血液検査のデータを用いて一人ひとりにアドバイスしてくれます。

帝京大学ラグビー部の歩み

2017年度に「大学選手権」9連覇を達成した帝京大学ラグビー部は、1970年の創部から50年の歴史を持つ。創部当初は部員が15人に満たない同好会のようなクラブだった。74年に、日本体育大学のOBで現在は帝京大学ラグビー部で名譽顧問を務める増村昭策氏が監督に就任。クラブとして本格始動したのもこの辺りからで、76年の全国地区対抗大会では初出場ながら準優勝。翌77年には堅い守備力と素早いカウンターで近畿大学を破り、全国地区対抗大会で初優勝を飾った。関東大学ラグビー対抗戦に準加盟したのもこの年で、78年には晴れて同対抗戦に正式加盟。寮など部の環境整備も徐々に進み、帝京大学ラグビー部はこれを機に新たなステップを踏む。80年以降にはチームはさらに進化。対抗戦では早稲田大学に初勝利を収め、交流戦では関東大学リーグ戦優勝の法政大学にも勝利。大学選手権に初出場を果たした。このころ、帝京大学ラグビー部は「紅い旋風」と呼ばれていた。80年代後半からは、しばらく大学選手権出場から遠ざかり、やや低迷期に入る。そこでクラブに迎えられたのが若出雅之現監督だった。若出監督は就任早々、FWの強化に着手し、FWとBKのバランスがとれたチームへと進化させる。就任1年目の96年は対抗戦3位で大学選手権に進出。同一回戦の龍谷大学戦では11トライ79得点を奪う圧勝で、大学選手権初勝利を手に入れた。またこの後、世界でも戦える有望な選手を数多く輩出していった。

08年に6勝1分の成績で初めて対抗戦1位を手にする。09年には東海大学を破り悲願の大学選手権優勝。創部40周年で初めて大学ラグビーの頂点まで上り詰めた。その勢いは現在もなお続いており、さらなる記録に挑み続けている。



1970 ▶ 2020

CLUB DATA
創部: 1970年
スローガン: ENJOY & TEAMWORK

RECORD
全国大学ラグビーフットボール選手権大会:
出場: 27回 53勝19敗1分
優勝: 9回 準優勝: 1回 ベスト4: 3回
関東大学ラグビー対抗戦Aグループ:
優勝: 9回
日本ラグビーフットボール選手権大会:
出場: 11回 6勝10敗1分



流大

サントリーサンゴリアス
2014年度卒・主将



亀井 亮依

NECグリーンロケッツ
2016年度卒・主将



坂手 淳史

パナソニック ワイルドナイツ
2015年度卒・主将



松本 健留

2020年度・主将



堀越 康介

サントリーサンゴリアス
2017年度卒・主将



中村 亮土

サントリーサンゴリアス
2013年度卒・主将

仲間を頼ることも
キャプテンシー

松本 本日はお時間をいただき、ありがとうございます。まずは先輩方にキャプテンやリーダーとして大切にしていることをお聞きしたいです。

中村 自分をしっかり持つこと。こうでなければならぬという正解はない。選ばれたからには自分の色を出して、自分の言葉を伝えるということが大事なので、常に自分自身の意思、意見をちゃんと持って、自分の言葉で伝えるように意識している。

流 周りの人たちと一緒にやるということ。一人でできることには限りがあるので、周りの人たち、学生なら四年生たちと一緒にやっていくと良いと思う。

坂手 しっかり周りの人たちとつながって、一緒にチームをつくることはとても意識している。最初は周りに頼ることがすごく難しいけれど、いろいろな人と話をして、考え方を聞いて、話し合いながらやっていくように意識している。

亀井 自分の色をしっかりと持つこと。僕は周りに頼るのが苦手なので、自分の色を出し、自分の考えに近い仲間を増やしながらかチームづくりをしている。

堀越 まずは自分の言葉で自分の考えをしっかりと伝えること。

Special Crosstalk

王者のキャプテンシー

V5からV9までの歴代キャプテンが集結。トップリーグの現キャプテンや世界を相手に戦ってきた者たちだ。帝京の連覇を支え、卒業後もトップレベルで戦い続けている先輩たちに、松本健留キャプテンが忌憚のない質問をぶつめた。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、リモート形式で座談会を行いました。

僕も周りに頼ることは苦手だけれど、自分だけで動かないように周りとうまくリンクしていくようにしている。

松本 ありがとうございます。シーズンが深まってくると、試合に出るメンバーと出ないメンバーとで温度差が生じて、出ない人はモチベーションの波が大きくなってしまっているのですが、それにはどう向き合っていけば良いのでしょうか。

堀越 各チームのリーダーとコミュニケーションを取って、チームがどういう状況かを確認しながらやっていくことが大事。優勝したときにAチームだけが喜んでいるのは優勝の価値は高くない。各チームのリーダーや学生コーチに頼って、チームをひとつの方向に向かせるのが大事だと思う。

亀井 やはり他チームのリーダー陣と頻度高くコミュニケーションを取って、チームの状況を常に共有していくこと。僕は下級生のころ、試合に出られない悔しさを感じた時期があったので、その経験からどうすればチームがひとつになれるかということを考えた。その結果、やはりコミュニケーションが重要だと分かった。

坂手 みんなでチームをつくっていかないと強いチームにならないので、全員でこのチームを手を抜くということがなかったし、厳しい中でもみんなで勝利を掴みに行くという経験は我慢強さを養ってくれたと思う。そして、厳しい状況の中でも、しっかりと考える続ける我慢強さ、楽な方に流されずに我慢強く対応できる力は大学時代に養われたことだと思う。

流 ラグビーの面では、やはり最先端のことをやっていたと思う。ウエイトトレーニングでも高いレベルのことをやっていたので、サントリーに入ったとき、BKの中ではそこそこ強い方だったし、フィットネスも問題なく入れた。卒業後、次にどこでラグビーをやるにしても、レベルの高い状態が入っていけると思う。

中村 僕が知っているOBを見ていると、どんな環境にもフィットできる対応力を感じる。そのチームにおいて何が大事なかをすぐに理解して、自分の中で考えて、自分の役割は何かを瞬時に理解する能力は、大学時代に培われたものだと思う。

ターニングポイントが必ずある

松本 皆さん『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』で優

つুক্তっているという意識を、特に四年生が持つことが大事。そのためには、やはりコミュニケーションが重要。常に四年生が結束していないといけないし、いるいるな情報を共有しておくか、いいいけない。共有によって、みんながチームをつくっているという気持ちになれる。

流 レギュラーが他チームの人に「頑張れ」と言うのと、例えばDチームの四年生がチームメンバーに言うのでは、伝わり方が違うので、それぞれのチームにいる四年生に頼るのが一番大事だと思う。僕が四年生のときは、試合に出ていない四年生たちに「優勝するためにみんなの力が必要だ」と腹を割って話をし、全員のスタンダードを引き上げてもらった。

中村 チームとのかかわりを強くすることで、結束やチーム愛が生まれてくる。レギュラー以外の人たちにチーム内で何か役割を任せたり、チームに対して貢献できる場所をつくったりというのが、リーダー陣や上級生の役目だと思う。上級生が後輩に仕事を任せることによって、後輩たちにも責任感が生まれるし、結束力も高まっていく。

勝を経験していますが、ご自身がキャプテンだった際、ここが転機になったと感じるようなできごとはありませんか。

堀越 僕は四年生の春に岩出監督から指摘を受けたとき。それまでは自分がチームで一番体を張っていたけれど、監督からは「それでは大所帯は引張れない。別の方向を見ている人もいる」と言われた。たしかにそうだと思う、一番体を張った上で、言葉を使ってみんなを引っ張ることを意識するようになり、自分の中のリーダーシップが大きく変わった。

亀井 チームとしては夏合宿がターニングポイントで、チームが目標に向かってひとつになっていくようになった。個人的には、僕がキャプテンに決定する前のミーティングで岩出監督から「今なら辞めてもいいんだぞ」と覚悟を問われたこと。そこで「やります」と答えて、僕自身の覚悟が決まった。そこから、良いチームづくりができたと思っている。

坂手 『関東大学対抗戦』最終戦の筑波大学との試合。それまで全勝で、優勝は決まっていたが、この試合で負けてしまった。ここがターニングポイントになったと思う。たしか、公式戦50連勝（『関東大学対抗戦』、『全国

みんなの前で何をどう話すべきなのか

松本 みんなの前で話すとき、どんなことを意識して話をしていきますか。

中村 うまくまとめることよりも、そのときの感情や思いを自分の言葉に乗せて伝えるようにしている。正解の言葉を並べるよりも、自分の言いたいことを言う。もちろんバランスも必要だけれど、自分の考えをしっかりと自分の言葉で言おうと意識している。

流 大学生のときは、みんなが納得するだろうからこう言おうではなく、そのときに感じたことをしっかりと伝えるようにしていた。必要がなければ言葉はいらないので、何も言わずに終えることもあった。いつもポジティブな方向に持っていくだけじゃなく、悪ければ悪いと言うことも大事だし、嫌なことを言わなければならぬ場面も出てくると思う。それはキャプテンとしてのみんなへの責任。みんなに伝えるべきことを正直に話すことは意識していたし、今もしている。

坂手 本当に思っていることを、ストレートにしっかりと伝えることが大事。自分の四年時は、言わなければならぬことを、オブラートに包むような言い方

をしてしまうことが多かった。

学生時代は何を言ったら良いのかと考える過ぎていた。今になって思うのは、そのときに感じたことを率直に伝えれば良かったし、練習後であれば今日はどんな練習の状態だったかを感じ取るアンテナをしっかりと張っていれば、おのずと何を伝えなければならぬかも見つかると。思ってたことをそのまま全員へ伝えるか、一部のみにだけ個別に伝えるかは考える必要があるが、いざにしても自分の考えていることをストレートに伝えることが大事だと思う。

亀井 学生のころは、話すタイミングと話すボリュームを意識していた。伝えたいことをすべて言葉にしてしまうと、かえって相手に伝わらないこともあるので、状況を見て、タイミングとボリュームを考えて伝える。今は、みんなの声を聞くことを意識している。

堀越 大学時代に（流）皆さんに、タイミングや雰囲気を感じながら話すということを教えてもらった。例えば（監督の）その前のミーティングが少し長かったあとに何か話すとしたら短い言葉でパッとまとめるし、集合ミーティングでキャプテンとして前に出て話すといった場面では、大事なことを話す状況だと思うので、少し長い時間がかかっても、みんなにきち

んと伝えるために丁寧に説明をする。その方が自分でも話を整理しやすいし、周りにも伝わりやすいと思う。

帝京大学ラグビー部で学んだこと

松本 帝京大学ラグビー部での経験は、卒業後にどのように活かされていますか。

堀越 考える力が身に付いたと思う。人に言われたことだけをやるのではなく、それがどこにつながっていくのかを自分で考え、行動できる力を養う環境があった。例えば会社で資料を作る際、頼まれた部分以外のところで工夫ができないかと考えて、グラフを入れて見やすくしてみたら評価された。自分としては、大学時代に「どうすれば相手に伝わりやすいか」を常に考えていたのをそれを実践しただけだったのだけれど、評価されることも多々ある。

亀井 自分の考えをしっかりとめてみんなに話す力は、大学時代に養ったものだと思う。また、トップリーグに入ってからチーム全体を広い視野で見、自分自身の役割を見据えることができたのも、大学時代に広い視野を養うことができたからだと思う。

坂手 我慢強さが身に付いた。坂手 チームづくりはつらいことだけではなく、楽しいこともたくさんあるので、みんな楽しんでほしい。みんなできつくり上げてきたものを世に出せた喜びを感じながら、それを次に向かっていくエネルギーにして、頑張っているってほしい。

流 今年は特に準備が難しかったと思う。今後不測の事態や、うまくいかないときにどうやって良い方向に持っていくかが大事になると思う。苦しい場面に遭遇したときこそ、キャプテンや四年生たちの実力の見せ場。しっかりと固まって、チームのスタンダードを上げていけるようなリーダーシップを発揮してほしい。残り少ない学生ラグビー生活を思い切り楽しんでほしいと思う。

中村 今やっていること、今思っていることを継続してやるのが一番大事。今年は『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』、見に行けるのかな。見に行けたときは、このメンバーで集まって見たいと思う。応援しています。

松本 たくさんのお話を伺い、今後の展望が見えた気がします。残りの期間も、しっかりと努力していきたいです。また、先輩方の今後のご活躍を応援しています。本日はありがとうございます。

最新の施設と設備で学生生活をバックアップ!

ACT 3



主体的な学習をサポートするために、グループ学習など多様な学習スタイルに対応したアクティブラーニング施設。ピアサポーター（先輩学生）による支援が行われている。

SORATIO KITCHEN



ソラティオスクエアに登場した都心まで展望できるお洒落で美味しいキャンパスレストラン。生涯の思い出になる憩いの場に。

キュリオシティホール



席数は1005席（1F 801席、2F 204席）を有し、小ホール1.5倍分の広さを誇る。

アリーナ



バスケットボールコート3面、バレーボールコート3面、バドミントンコート4面、ハンドボールコート1面を設置。観客席も備えている。

メディアライブラリーセンター



蔵書75万冊、1800席の快適な読書・学習空間。PCステーション、グループ学習室は、多くの学生がレポート作成やグループワークに活用。

ACT 2



Active Learning & Creative ToolBox、通称 ACTでは、グループ学習など多様な学習スタイルへの対応、マルチメディア設備の充実を図り、学生の主体的な学習をサポート。

少人数教室



教員と学生が一体感を持てるような授業展開ができる教室が、およそ90室設置されている。

帝京大学総合博物館



多摩地域の自然を写真や実物資料、映像を交えた常設展示コーナー、短期間で内容が変化する企画展示コーナーで、帝京大学の歴史を学べる。

小ホール



500名を収容できる大きな講堂。大学のイベントをはじめ、各種シンポジウムや講演会などでも使用。

キャリアサポートセンター



「就業力育成」「生涯サポート」「キャリアデザイン演習」による大学トップレベルのキャリア形成支援プログラムで学生一人ひとりのキャリア実現をサポート。

帝京大学ラグビー部 イヤーブック 2020

2020年12月発行
編集：木谷 優 (threelight)
撮影：志賀 由佳
取材・文：木村 俊太
デザイン：村上 一哉・田邊 奈々 (threelight)
発行：帝京大学本部広報課
東京都板橋区加賀2-11-1



帝京大学 ラグビー部 公式ホームページ

最新の試合結果やニュースをはじめ、部員紹介や動画まで、さまざまな情報をお伝えしていきます。

<https://www.teikyo-sports.jp/rugby/>

帝京大学 ラグビー部

帝京大学
TEIKYO

<https://www.teikyo-u.ac.jp/>

本誌掲載記事、写真等の無断複製・転載を禁じます。
©TEIKYO UNIVERSITY 2020

SORA RATIO 宙×理性 = 可能性

SORATIOとは…

果てしない天空、宇宙のように無限に広がる空間を表す「宙=SORA」とラテン語で「理性」を意味する「RATIO」を組み合わせた造語。帝京大学の学生一人ひとりの可能性が無限に広がっていく様を表現しています。また高層部・低層部からなる建物群をSQUARE（広場）として捉え、「SORATIO SQUARE（ソラティオ スクエア）」と名づけました。

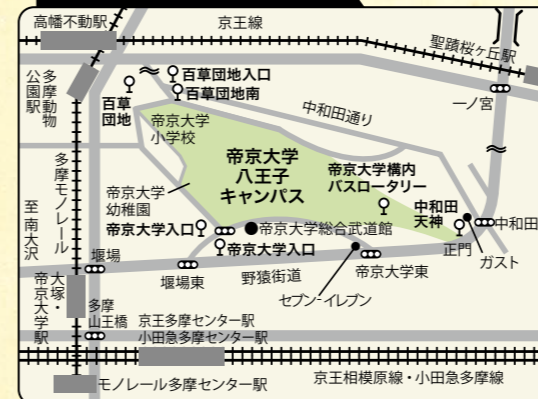
キミの広がる無限の可能性

充実した学びの環境 SORATIO SQUARE

帝京大学八王子キャンパスのリニューアルで誕生した校舎棟 SORATIO SQUARE。免震構造の地上22階/地下2階建ての省エネにも配慮した校舎です。多摩丘陵の豊かな景観や地形と一体化したデザインは帝京大学の教育理念や伝統ある学問の積み重ねを表しています。



帝京大学 八王子キャンパス MAP



「八王子キャンパス」で学べる学部学科

- | | |
|--------|------------------------------|
| 経済学部 | 外国語学部 |
| 経済学科 | 外国語学科 |
| 国際経済学科 | 教育学部 |
| 経営学科 | 教育文化学科 |
| 観光経営学科 | 初等教育学科 |
| 法学部 | 医療技術学部 |
| 法律学科 | スポーツ医療学科 |
| 政治学科 | ※健康スポーツコース/
トップアスリートコースのみ |
| 文学部 | |
| 日本文化学科 | |
| 史学科 | |
| 社会学科 | |
| 心理学科 | |

全国に広がる 5つのキャンパス

- 八王子キャンパス
- 板橋キャンパス
- 宇都宮キャンパス
- 福岡キャンパス
- 霞ヶ関キャンパス